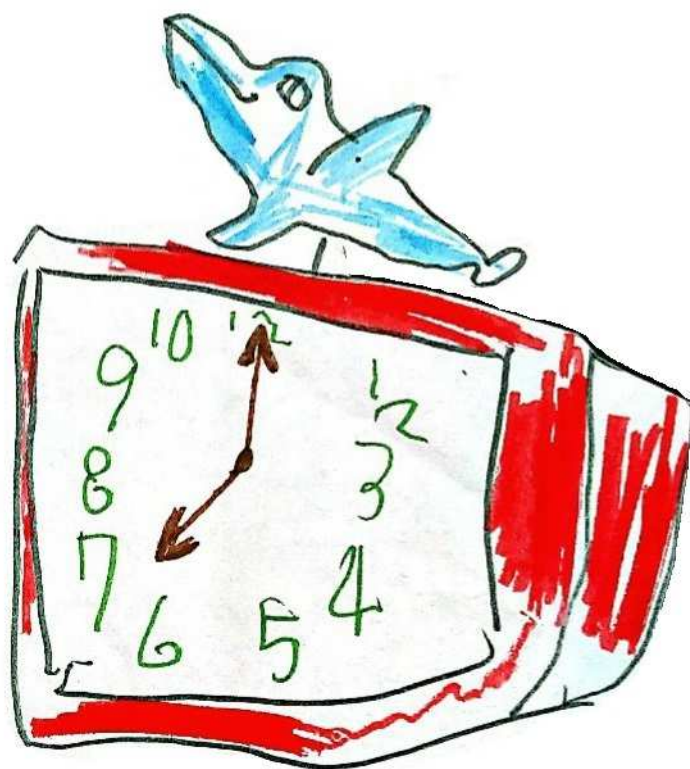


発達障害者支援に関する講座・グループの活動紹介

あせらず あわてず すすもうや



作成／令和2年度 岡山市公民館 発達障害者支援グループ連絡会

はじめに

岡山市内の公民館では、いろいろな形で地域に発達障害の理解啓発を進めています。

そこで、各団体が取り組まれている活動を紹介し、不安を抱えていたり、相談先や仲間がほしいと思っていたりする当事者やご家族に参加をすすめることが、公民館ができるいちばんの情報提供であると考え、「公民館で活動している発達障害者支援に関する講座・グループの活動紹介冊子」を作成し、多くの方に見ていただくようになりました。

お助けミニ情報（巻頭）を参考に、「行ってみようかな～」と思ったらぜひ足を運んでみてください。当事者やご家族にとっての居場所や体験の場、仲間との出会いが待っていますよ。

表紙イラスト：いるか時計

中村 ^{もん} 聞 さん

発達障害☆お助けミニ情報

令和2年9月1日現在の情報です。

相談機関

公民館で活動しているグループや関係団体の意見・体験談をもとに作成しています。詳細は直接、相談機関にお問い合わせください。

作成：岡山市公民館 発達障害者支援グループ連絡会

名 称	電話番号	曜 日	時 間
-----	------	-----	-----

◇岡山市発達障害者支援センター ひか☆りんく 236-0051 月～金 8:30～17:15

岡山市内にお住まいの発達障害のある方、またその疑いのある方とそのご家族、および関係機関を対象とした相談窓口。
まずはお電話をください。ご相談内容をお聞きします。ご相談者のニーズに応じた支援方法を検討し、後日、センターから連絡します。
来所による相談の場合は予約制です。ご相談の内容により情報提供や他機関の紹介等させていただきます。（対象となる方の年齢は問いません）

◇こども総合相談所（岡山市保健福祉会館5階） 803-2525 月～金 8:30～17:15

岡山市在住の方の、子ども（原則18歳未満）に関する様々な相談窓口です。発達障害に関しての相談も行っています。原則来所での相談（要予約）。
※電話による虐待通告は休日・夜間も対応しています。

◇地域こども相談センター 月～金 8:30～17:15

子どもや家庭に関する身近な地域での相談窓口。発達障害についても相談の中で適切な機関を紹介してくれます。
子ども相談主事が各センターにおり、学校での悩みも相談できます。学校を通じて相談できます。

北区中央福祉事務所内	803-1824	北区北福祉事務所内	251-6521
中区福祉事務所内	901-1234	東区福祉事務所内	944-0131
南区西福祉事務所内	281-9652	南区南福祉事務所内	261-7127

◇岡山市保健所・保健センター 月～金 8:30～17:15

電話育児相談や乳幼児こころの相談（要予約）など、乳幼児の発達や情緒面での相談業務があります。各保健センターでは健診の際に相談ができます。

北区中央保健センター	803-1265	北区北保健センター	251-6515	電話育児相談	803-1270
中区保健センター	274-5164	東区保健センター	943-3210	月～金	9:00～12:00、
南区西保健センター	281-9625	南区南保健センター	261-7051		13:00～16:00

◇主任児童委員

地域の子どもの福祉に関わるさまざまな相談にのっています。気軽にご相談ください。
福祉援護課福祉係 803-1218

◇おかやま発達障害者支援センター（旭川荘内） 275-9277 月～金 9:00～17:00

岡山県内（岡山市を除く）にお住まいの方で、発達障害がある、もしくは発達障害ではないかという心配があるご本人・ご家族、支援機関からの相談をお受けしています。まずはお電話でお問合せください。

◇岡山県自閉症児を育てる会	(086)955-6758
	【相談電話専用】(086)955-3162

岡山県内に住む自閉症児の母親たちが始めた会。セミナー、交流会等の開催。

◇岡山市教育相談室・適応指導教室

市内在住の不登校の児童生徒で適応指導を必要とする児童生徒を対象に、適応指導を通して学校復帰を目指しています。まずは相談窓口にご相談下さい。

岡山市教育相談室	207-2170	すまいる瀬戸	952-9161	教育相談室（電話）	月～金	9:00～18:30
トラングルー宮	284-8460	ラポート牧山	228-3121		土	9:00～16:00
あおぞら操山	207-2830	南部適応指導教室	230-6750	※来室相談は要予約	☎	207-2170
					📠	207-2175

◇通級指導教室

通常の学級に在籍している障害のある乳児児童生徒が、通級による指導を受けられる教室です。在籍している学校・園にご相談ください。

（情緒）石井小学校、鹿田小学校、御野小学校、西小学校、桃丘小学校、横井小学校、旭東小学校、高島小学校、幡多小学校、財田小学校、西大寺小学校、芥子山小学校、七区小学校、福島小学校、芳泉小学校
石井中学校、福浜中学校

（情緒地域拠点教室）上道中学校

（言語）石井小学校、御野小学校、西大寺小学校、桃丘小学校、七区小学校

（ことばの教室）石井幼稚園、御野幼稚園、西大寺幼稚園、南方岡山中央認定こども園

障害児相談支援事業所、放課後デイサービスなどの情報は「障害者のしおり」をご覧ください。「障害者のしおり」は各福祉事務所・各支所・灘崎保健福祉室、又は障害福祉課で配布しています。また、岡山市のホームページでダウンロードすることもできます。

岡山市には1 中学校区に

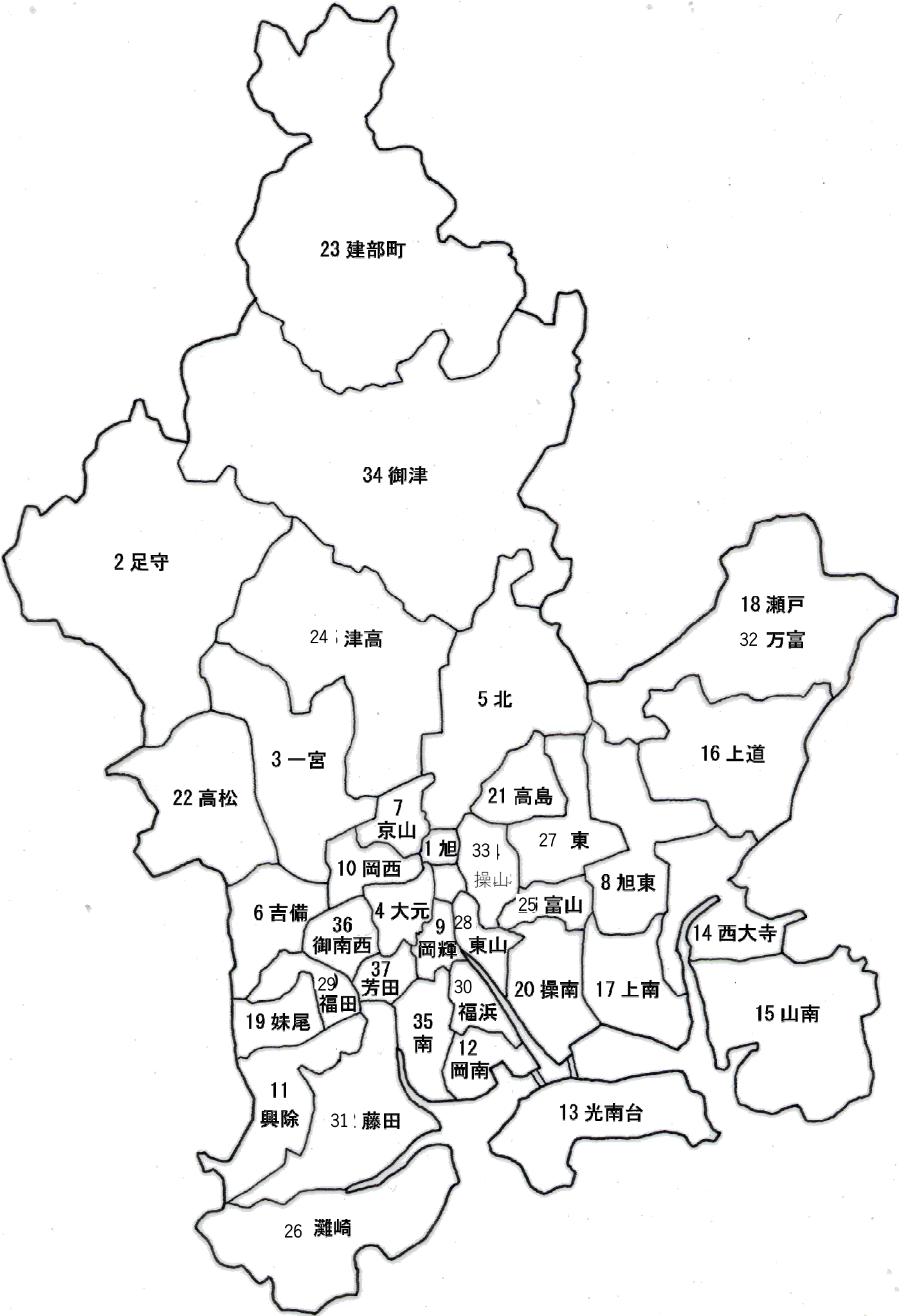
およそ1 つの公民館があります。

そんな地域に根ざした公民館を利用して活動している
親の会等を紹介します。

また、公民館主催の講座や自主的なクラブ活動もあり
ます。

詳しくは、各公民館へお問い合わせください。

公民館名 (50 音順) & 電話番号			中学校区
1	旭	224-0515	岡山中央
2	足守	295-1942	足守
3	一宮	284-6224	中山
4	大元	241-8526	桑田
5	北	254-4633	岡北
6	吉備	293-2170	吉備
7	京山	253-8302	京山
8	旭東	943-1154	旭東
9	岡輝	222-0855	岡輝
10	岡西	253-7581	石井
11	興除	298-2660	興除
12	岡南	262-3483	福南
13	光南台	267-1255	光南台
14	西大寺	942-6252	西大寺
15	山南	946-8165	山南
16	上道	297-2377	上道
17	上南	948-3352	上南
18	瀬戸	952-4146	瀬戸
19	妹尾	282-4747	妹尾
20	操南	276-7898	操南
21	高島	275-1341	高島
22	高松	287-2057	高松
23	建部町	722-2212	建部
24	津高	294-4222	香和
25	富山	274-0827	富山
26	灘崎	362-0408	灘崎
27	東	271-1911	竜操
28	東山	276-6202	東山
29	福田	282-3773	福田
30	福浜	265-4835	福浜
31	藤田	296-2185	藤田
32	万富	953-0610	瀬戸
33	操山	271-5030	操山
34	御津	724-1441	御津
35	南	263-7919	芳泉
36	御南西	244-1855	御南
37	芳田	245-0688	芳田



※お住まいの中学校区に関わらず、
どなたでも市内の公民館を利用でき
ます。

公民館で活動している 会・グループ など

地図 番号	公民館名	会名称・講座名	ページ 番号	
7 9 10	京山 岡輝 岡西	よつばの会	7	仕事体験活動（支援の必要な子どもの職業体験）を通して障害の理解と地域のつながりを広げる会。定例会及び運営会（毎月第3火曜夜）・農業体験。週1回仕事体験活動。支援の必要な子どものいる地域の公民館で活動を広げています。
7 10 24	京山 岡西 津高	アリスの会 （岡山県高機能広汎性発達障害児・者の親の会）	9	高機能広汎性発達障害（知的障害を伴わない自閉症・アスペルガー症候群など）児・者の親の会です。今年度より親会員を募集し、知的障害を伴わないタイプの子どもたちの事を話し合う場を持てたらと思っています。
7	京山	きのこの会	11	困り感を持つ子ども達（知的、情緒、不登校など）と親の学習と体験の場です。交流と情報交換を兼ねた茶話会、料理講座、歌の会など公民館を主体に活動しています。
7	京山	チューリップの会	12	地域支援者（サポーター）に見守られながら「お仕事体験」を行う中で、子どもの社会参加と自立の力を育みます。子どもと保護者の思いを大切に、地域に根付く活動を目指しています。
27	東	ウィズはあと	13	育てにくさを感じている保護者や、発達障害、不登校のお子さんやご家族、支援者が集う会。
全市的に活動 している グループなど		NPO 法人岡山県自閉症協会	15	
		カラフルキッズの会 にじのね	17	
		たんぽぽの会	18	
		あじさい	19	
		くらしのたね	21	
		子どもの多様な育ちを 応援する会おばーる	22	

公民館 主催講座・クラブ講座

地図 番号	公民館名	会名称・講座名	ページ 番号	
4	大元	なかよしの会	24	第1月曜日 10～12時 支援について勉強や情報交換、何気ないお話をしに来ませんか。
6	吉備	たんぽぽネットワーク	26	偶数月の第1土曜 13～15時 支援の必要な子どもの生活や教育の環境をよくするために、情報交換したり相談したり要望したりしている。
8	旭東	ほっとほっと	27	第2・4火曜 10～12時 いろいろな悩みを語り合うことで、ほっと一息ついて、心が軽くなれる交流の会。
10	岡西	あおぞら	28	第1金曜日 10～12時 発達障がいについて学んだり、情報交換したり、交流を通してゆるやかなつながりができる場。
13	光南台	人・ふれあい・ひろば	29	第1木曜 10～12時 発達障害について理解を深め、情報交換等、ざっくばらんに話し合える「交流の場」。
14 16	西大寺 上道	子育て応援サークル カンガルーポー	30	第2月曜 10～12時：上道公民館 第2火曜 10～12時：西大寺公民館 子どもの自立支援。親の子育て応援のための、情報交換・学習の場。
17	上南	オレンジクローバーの会	31	奇数月の第4月曜 10～12時 発達障害についての学習・情報交換と交流の場。
20	操南	ゆるゆるすくすく♡ そうなん	33	毎月第1木曜 10～12時 発達障害についての学習・交流・情報交換など。
21	高島	はなみずきカフェ	34	毎月第2金曜 10～12時 お茶やお菓子を楽しみながら、一緒にいろいろな話をしています。
24	津高	トモスカイ津高	35	毎月第2火曜日 10～12時 発達障害など自閉症スペクトラムをもつお子さんの家族やそれを支える地域の方々の集いの場。茶話会、講演会、勉強会、お楽しみ会など、わきあいあいとした会です。

25	富山	「ぐるんぱの会」 ～みんなで知ろう！発達障がい～	36	第3土曜 14時～16時 子育てに悩みや不安がある方、発達障がいなどがあるお子さんをもつ保護者の方、地域の支援者が集まり、悩みを話し合ったり、情報交換を行っています。
26	灘崎	子育て茶話会 「すまいる」	37	第2土曜 19～21時 支援の必要な子どもを持つ親の交流の場。
27	東	ほっとステーション	38	原則として奇数月の金曜 10～12時 悩みや気持ちを語り合う場。交流・情報交換など。
28	東山	ひまわりサポーターズ クラブ	39	第4木曜 10～12時 お茶を飲みながら発達障害について気軽に学んだり情報交換をする。 学習会やハイキング・クリスマス会なども行う。
32	万富	ありんこクラブの おしゃべり会	40	月1回。発達障害について語り合ったり学び合ったりできる場です。
33	操山	ふらっとhome ～子育てトーク会～	41	「子どもが学校に行きづらい」「お友だちとうまくいかない」など心配事をおしゃべりで話す（離す）会です。 託児（要相談）
36	御南西	子育て座談会 ～発達障害を考えよう～	42	毎月第3月曜 10～12時 座談会を開催。 おしゃべりしながら情報交換したり、勉強したりしています。

就学相談Q & A . . . 45

岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課HPより

公民館で活躍している
会・グループなど

よつばの会

平成 21 年 9 月に会を立ち上げ、主に発達障害のある子どもたちが仕事体験を行っています。保護者、地域の大人（サポーター）と地域支援者、受け入れ企業の方たちとともに、子どもたちが活動を通じて人と人との繋がりの中で、自己肯定感や生きる力を育むことを目的としています。 ※岡山市内全域から活動に参加しています。

T の仕事体験報告…母より

2019 年 12 月から 2020 年 5 月の間活動し、最後の仕事体験は養護老人ホーム 報恩積善会でした。T は高校生ですが、発達障害と重度の知的障害があります。しかし繰り返しの作業や指導して下さる職場の方、サポーターさんがいて下さるおかげで、様々な仕事や体験をさせてもらいました。老人ホームでは、利用者さんの髪を、ドライヤーで乾かすお仕事などもさせて貰いました。

よつばの会の仕事体験は、巡り合わなければ絶対に経験出来なかった人生の貴重な体験です。また、協働まちづくり賞での副賞である仕事体験の動画撮影では、岡山市の方のサポート、oni ビジョン撮影で、実際には仕事体験をしていなかった美容院 PAPASS 中仙道店で、撮影の為に急遽、仕事体験をしました。以前 PAPASS 本店（津島）で仕事体験させて貰ったとはいえ、これは撮影に協力して下さったスタッフさんの配慮、サポーターさんのサポート力、後は本人の今まで仕事体験をしてきたという、積み重ねによるものかもしれません。これまでの活動を振り返ると、仕事体験は成功体験になり、障害のある人の小さな自信につながると思います。

PAPASS 店長さんと一緒に♪



サポーターを継続する中で気づいたこと

PAPASS にて笑顔で仕事体験中！



T 君が仕事体験を終了し、今度は就職を目指して、企業や作業所で実習を積んでいると、定例会でお母さんからの報告がありました。T 君に初めて出会った時、まだお互いの意思疎通もままならず、後について見守ることしかできなかったことが、思い出されます。

『岡山市立岡輝公民館』で始まった T 君の仕事体験は、受け入れて下さる公民館の担当者の方の工夫で、いつも楽しく 1 時間の仕事体験が来ました。『畠山製菓株式会社』では、菓子袋の正しい位置にシールを貼り、これで良い？というように、サポーターと目を合わせながらの作業でした。『明和製紙原料株式会社』では、力仕事を 1 時間も続ける事が出来る体力や根気強さが身につき、職場の方からの声掛けに、あいさつをしっかりと返せるようになりました。『タイム大安寺店』では、バックヤードの色々な仕事をさせてもらい、またその手順を自分で考えて工夫し、繰り返しの作業を正確に行えるようになっていました。その他にも、『池田動物園』『パパス』『積善会』など、たくさんの職場の人達に支えられた仕事体験であったと思います。

思い返せば、明和製紙原料株式会社で仕事体験をする頃から、後を追いかけていた見守りが、隣に並んで歩けるようになり、ちょっとした作業のポイントを伝えると、少しずつアドバイスを取り入れながら、サポーターや受け入れ先の担当者の方との意思疎通が出来るようになっていきました。1 週間に 1 時間の仕事体験を何年にもわたり積み重ねる事が、T 君に大きな成長をもたらしていると実感できます。企業などの長期にわたる受け入れや、保護者の方の日々の送り迎え、交代しながらしたサポーター、みんなの力が T 君の成長を支えてきたのだと思います。何よりも、暑くとも寒くとも休まず仕事体験を続けた T 君自身に、お疲れ様の拍手を贈りたいと思います。こんな素敵な仕事体験をしたい！と思われる親子会員さんが、よつばの会に入会されることを、心よりお待ちしております。

よつばの会 活動紹介リーフレット

協力企業・団体

- 岡山シティミュージアム
- 岡山ネットワーク株式会社 (oniビジョン)
- 有限会社PAPASS (美容院)
- 畠山製菓株式会社
- NPO法人 杜の家
- 明和製紙原料株式会社
- 池田動物園
- 株式会社ミツバファクトリー
- 古書五車堂
- 岡山市施設
(公民館・図書館・ふれあい公社など)
- 岡山市内公民館 (岡輝公民館・岡西公民館)
- 岡山市立中央図書館



子どもたちのやってみたい仕事体験を実現できれば、企業開拓を行っています。地域で受入れを検討いただける企業がありましたら、ご紹介下さい。

企業からのメッセージ

岡山ネットワーク株式会社 (oniビジョン)

担当：金子陽子さん

障害のある子どもたちを、これまでに4人受け入れ、仕事体験をしていただきました。

子どもたちのやりたいことや好きなことは何か、仕事体験しながら、一緒に見つけたいと思っています。週1回の1時間はあっという間ですが、職場の大切なスタッフの一員です。

これまでに来てくれた子どもたちはみんな純粋。ご縁に感謝の気持ちでいっぱいです。

入会のご案内

『よつばの会』は、平成21年9月から、初めての場所や行動、コミュニケーションが苦手など、見た目では分かりにくい障害のある子どもたちを中心に、仕事体験活動をしています。子どもの好きなことや興味がある事、やってみたい仕事を、サポーターの付き添いのもと体験できるので、半年間という長い期間活動し、楽しかった！と、笑顔で話してくれます。

障害のある子どもがいる家庭と、地域の人とが会い、障害や子どもたちの将来について話せる場が生まれています。よつばの会の活動は、たくさんの人の力を必要としています。人と人とのつながりの輪、皆さんと一緒に活動してみませんか？

【構成メンバー】

- ・支援を必要とする子ども
- ・保護者
- ・地域の住民
- ・子どもを受け入れる協力企業
- ・公民館や学校



会員種別と会費

○会員種別

- ①正会員 (家族会員) ※親子・家族での入会
 - ②正会員 (親会員・一般会員)
 - 月会費 (年度はじめに1年間分を集金)
 - ・正会員 (家族会員) 800円 (年9,600円)
 - ・正会員 (親会員) 400円 (年4,800円)
 - ・正会員 (一般会員) 400円 (年4,800円)
- ※途中入会した方は、入会申込み月から集金

問い合わせ先

よつばの会への申込み・お問合せは

メールアドレス: yotubanokai@gmail.com

イラスト：伊丹 君江



よつばの会

保護者 受入れ企業
子
地域住民 行政機関



岡山市ESDプロジェクト参加団体
岡山市障害児仕事体験活動助成団体

※令和2年度から正会員(家族会員)の年会費は、4,800円に変更しています。

仕事体験活動

仕事体験活動は、支援を必要とする(障害のある)子どもが、地域の大人(サポーター)の支援を受けながら、地域の企業や行政施設に行き、働く経験を積み重ねる活動です。

障害のある子どもを家庭に隠すのではなく、社会の中で活動を通して、地域に出していきます。

自己肯定感が持ちにくい障害のある子どもには、仕事体験で役に立ち、ほめられる経験をする中で、自信を持ち、自分が働く事や、大人になった理想の姿を学ぶ機会ができます。

仕事体験活動をする際の条件

- ・10歳～活動可能で、入会時に未成年、または学生で、障害のある子どもが対象です。
 - ・週1回、1時間、最長6か月間、同じ受け入れ先で仕事体験活動を行います。
 - ・大人のサポーターが見守りの目的でつきます。
- ※療育手帳を持たない「広汎性発達障害」の児童の参加が増えています。

サポーターをしての感想♪

仕事体験活動をきっかけに、人と人とのつながりが広がっていきます。

往々にして話すことが苦手な子どもたちと、会話ができだすと、楽しくなってきます。一人一人の子どもたちと、その子に必要なと思われる約束をしながら活動を積み重ねていく中で、成長を見守ることが、生き甲斐になっています。

サポーター 長光新一

仕事体験活動の流れ

①



【サポーターと合流】

サポーターと職場の前で、仕事体験活動開始の10分前に待ち合わせ、近況や最近の体験の様子を共有する。

②



【職場に到着】

毎週約束をした時刻に職場に行き、職場の担当者から「今日の仕事」を指示され、作業を行っていく。

③



【1時間集中して働く】

困ったときはサポーターがアドバイスしてくれるので、安心して仕事ができる。

④



【仕事体験 終了】

終わりのあいさつをし、評価表に記入してもらい、頑張ったところを褒めてもらう。

⑤



【現地解散】

保護者へ今日の様子、良かった点、受け入れ先からの連絡事項など、報告する。

その他の活動

★定例会

日時：毎月第3火曜日 午後7時～9時
場所：岡西、岡輝、京山公民館を利用
※子どもを真ん中にして、話し合う集まりです。

★運営会議

会の運営上、話し合いが必要な時に随時開催

★啓発活動

(セミナー・HP・よつば便り・テレビ出演など)

【ESD関連事業セミナー】

“働く”ことが人と人をつなぐ
～仕事体験が育むもの～
青山商事(株)井原商品センター 副センター長
細川孝志 氏を迎えて など

★農業体験、カレーづくり

ジャガイモの植え付け、草取り、収穫した野菜を使っのカレー作りなど、農業体験を通して、地域協力者の方と交流しています。

★障害者雇用企業の見学 (バス研修)

平成25年 太陽公園と姫路城の見学
平成26年 神戸海洋博物館とインスタントラーメン発明記念館見学
平成27年 青山商事(株)井原商品センターと福山市立動物園見学
平成28年 樹すまいるエブリイと笠岡カブトガニ博物館見学

よつばの会の活動紹介

- *会ホームページ：(よつばの会岡山で検索)
http://www.geocities.jp/yotubanokai_prejob/
 - *会ブログ：<http://yaplog.jp/prejob-yotuba/>
 - *フェイスブック：よつばの会
 - *よつば便り (年3回程度の活動報告便り)
- ※よつば便り (年3回程度の活動報告便り) どうぞご覧下さい。

岡山県高機能広汎性発達障害児・者の親の会（アリスの会）

会 の 紹 介

私たちは、高機能広汎性発達障害児・者の親の会です。

高機能広汎性発達障害を持つ人たちは、広い意味での自閉症の特長を持っており、知的な能力はほぼ標準であるにも関わらず、学校生活や社会生活において、こだわりや社会性・対人関係などの問題が発生しています。このような状況のなかで親はどのように対処すべきかを悩み、自信を失いかけて途方にくれることもありました。そんな親たちが集ってこの会を結成しました。仲間づくり活動を中心にし、こどもたちと直接関わりながら具体的な支援がどうあるべきか探っていく活動をしています。

また、そうした活動を通して学んできたこと、気づいてきたことを共有する目的で親会員の募集を検討しています。

私達の活動

●会費

○本人活動会員 20,000 円/年（募集は停止しています。） ○親会員 5,000 円/年

●本人活動 【月一回の定例会】

鳥取大学井上雅彦先生のアドバイスをいただきながら、大学院生さんと本人たちとでレクリエーション活動、小旅行、本人たちの勉強会、料理体験、相談会、飲み会などを企画実施しています。



初詣



釣り体験



勉強会（マナー講座など）



料理体験



ボーリング大会



飲み会・茶話会



小旅行（岡山散策）

●支援セミナー・研修会



成人された当事者、ご夫婦をお招きしての講演会

(平成 25 年 12 月 岡山ふれあいセンター大ホール)

平成 28 年 12 月 テーマ「学齢期の理解と支援」

平成 29 年 12 月 テーマ「思春期以降の具体的な支援」

平成 30 年 12 月 テーマ「一人ひとりの自分らしい働き方

令和元年 11 月 テーマ「学齢期への教育支援」

○鳥取大学井上雅彦先生による具体的な支援
をテーマにしたセミナーを年一回開

○ペアレント・プログラム講座の開催

NPO アスペ・エルデの会研究協力団体として活動しています。講師をお招きしてペアレントプログラムのワークショップを開催(平成 26.27.28.30.令和元年度)

今年度の発達障害支援セミナー

令和 2 年 12 月 講師 井上正彦先生、



アスペハート、サポートブックなど、アスペ・エルデの会の冊子も取り揃っています。

●小冊子の発行



具体的な支援の手立てをわかりやすく記載した小冊子の発行

●親会員の募集(本人会員の募集は停止しています。)

本人活動を中心に活動을続けて 19 年になります。

そうした活動を通して学んできたこと、気づいたことを共有することを目的にした親会員を募集します。

【活動内容】茶話会、勉強会など年 3 回開催

問い合わせ先 : メールまたは FAX をお願いします。

HP : <http://alice.la.coocan.jp/index.html> MAIL : aliceokayama@gmail.com

FAX : 086-265-7991

きのこの会

◇困り感を持つ子ども達（知的・情緒・不登校など）と親の学習と体験活動の場◇

- ・困り感を持つ子ども達（知的・情緒・不登校など）を対象に、グループでの学習会、様々な体験を通して将来の自立に向けての促進を図る。
- ・青年期、成人期においては、当事者たちの会として、交流会を持ち、情報交換や相談会、助け合いの場とする。
- ・親は子ども達に積極的に関わり、親の会を開いて情報交換、様々な問題についての話し合い、必要があれば研修会等を開き協力し合う。

目 的

活動内容

1. 学習会（毎週火曜日）
2. ボランティア活動
3. クリスマス会
4. その他の体験活動（遠足・料理講座・創作活動・音楽活動など）
5. 保護者のつどい
6. その他



主な活動場所

京山公民館



年会費：1,000 円（兄弟は 500 円、保護者のみ 500 円）

連絡先：佐藤和子

090-5695-1284

kazuko_0123-abc@docomo.ne.jp

チューリップの会

(子どもの社会参加を考える会 in 京山)

地域の中で孤立しがちな支援が必要な子ども達をお仕事体験を通じて地域の人に理解してもらい、受け入れてもらう。また、子ども達がお仕事体験を通して地域に受け入れてもらえることで自己肯定感や達成感をもち成長する。難しい子育てに立ち向かう母達が孤立しない地域づくりの一助になればと思い活動しています。

参加者・サポーター随時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

【年間行事・活動日時・場所】

京山公民館を中心に活動しています。主な年間行事は右表をご覧ください。

運営委員会： 月 1 回 京山公民館にて
お仕事体験： 協力企業にて
京山公民館の『ESD フェスティバル』にて みんなのカフェを運営



夏休みお仕事体験（カバヤ）
初めての参加で緊張しましたが、サポーターさんに優しく声を掛けて貰いながら、一つ一つ丁寧に作業をすることが出来ました。
二日間の体験で自分なりに課題を見つけ工夫しながら作業を進めることができ、「やり切った!」という充実感を持ってました。

ESD みんなのカフェでお仕事体験（京山公民館）

京山公民館のESD フェスティバルにカフェを出店させていただきました。

コーヒー等の飲み物とちんすこう風クッキーを販売しました。風船を飾ったポップな内装と子ども達の笑顔で精一杯のおもてなし、多くの方にご来店頂きました。地域の方の楽器演奏や手品などの舞台も好評でした。



子育てトーク：京山公民館にて（年 6 回）

サポーター養成講座：

7 月：『発達しょうがいの理解と支援講座』京山公民館にて
理解を広めるための講座

9 月：『夏休みお仕事体験の振り返り』
サポーターさんや企業側の方との意見交流会

交流行事：研修旅行・親睦会など

卓球： 第 2・第 4 月曜日 伊島小学校にて

スキルアップ講座： 第 1・第 3 火曜日 京山公民館にて

教育・就労・自立を考える会：第 3 火曜日 市役所にて

などがあります。

【対象者・地域】

現在は小学生から 20 歳程度の社会参加に支援が必要な子ども達をもつ保護者・支援者（サポーター）が参加しています。京山地区に在住の方が中心ですが他地区からの参加もあります。

【会費】年間 1,000 円(入会金 1000 円但し、初年度年会費なし)

【連絡先】FAX：086-255-7597 メール：osgt_kyoyama@yahoo.co.jp

1月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月
*岡山大学教育学部教授 佐藤 晴先生を囲む会（親の勉強会）	◎京山地区ESDフェスティバル（京山みんなのカフェ）	*親睦会	*岡山大学教育学部教授 佐藤 晴先生を囲む会（親の勉強会）	*岡山理科大学恐竜博物館見学会	*前期活動報告会	*夏休みお仕事体験（カバヤ） 小5・中1 男4女4名参加 に参加（市役所にて）	*名刺作り （カバヤさん体験に向けて）	*発達障害の理解と支援講座 「みんなの理解と支援講座」 「誰かでも知っている身近な発達障害を考えた方がいい!」
*子育てトーク（5・7・9・11・1月）								
*卓球（毎月第2・4月曜日）								
*スキルアップセミナー（毎月第1・3火曜日）								
*教育・就労・自立を考える会（毎月）								
*事業所見学（随時）								
2018年度の主な行事								
通年								

子育てトーク

『喋って、聞いて…孤立しない子育て』
地域の子育て支援事業として、岡山市京山区ESD推進協議会に協力して京山公民館で、子育てに関するフリートークの会を年 6 回開催しています。

毎回、ノートルダム清心女子大学の湯澤美紀先生や、岡山市発達障害者支援センターの先生などのアドバイザーを迎え、他ではなかなか話せない悩みに、先生方のあたたかく、前向きになれるお言葉や、少し先を行く保護者からの経験談などもたくさんです。子育てトークのあった日は心がほっこりし、「一人じゃない」という安心感に包まれます。



大島 1 泊研修（8 月）

夏休みに大島自然の家で宿泊研修をしました。自然の中で釣りや海遊びを楽しんだり、屋内で卓球やカードゲームを楽しんだり、それぞれ好きなことにじっくりと取り組みました。夜には天体観測や部屋に集まってのお話会など、普段では味わえない貴重な体験ができました。



卓球

令和2年度

元気に！明るく！子育てしていこう！

ウィズはあと

「なんだか育てにくいな」、と感じている保護者やご家族の方、
独りで悩まないで！みんなで子育てをがんばっていきましょう！
そういった保護者やご家族、発達障害・不登校のお子さんや、
支援者が集う会です。どうぞお気軽にご参加ください。

〈対象者・対象地域〉・・・現在、竜操中学校区の保護者や支援者が中心に活動していますが
他の地域にお住まいの方も多く参加されています。

〈活動内容〉↓↓↓

①定例会

（毎月第3金曜日 18：30～21：00 東公民館）（参加費：100円/回 お茶代等）



子育ての難しさや悩みを共有したり、進学や就労についての情報交換、先輩保護者の話を聞いたり、不定期ですが講師を招いて勉強会やQ&A会をしています。お茶を飲みながら、ざっくばらんにお話ができる場です。

※初めてやお久しぶりの参加の方は、事前にお問い合わせ下さい。

②「ボードゲームで遊ぼう♪」の会

（毎月第4日曜日 10：00～12：00 東公民館）

「ボードゲーム」を通じて、

- ・学校以外の子どもたちの居場所づくり
- ・年齢の違う人や地域の方との交流の場づくり

を目指しています。

楽しみながら自然とコミュニケーション力がついてきます。

小さい子どもから大人まで、年齢や知識を問わず平等に遊ぶことができる「ボードゲーム」。

興味のある方、ぜひ遊びに来てね♪

※初めてやお久しぶりの参加の方は、事前にお問い合わせください。



サポーターさん募集中！

学生さん、地域の方大歓迎です！

年齢・性別・経験問いません。

一緒にゲームを楽しみましょう

③「発達障害について理解を深めよう！」講演会

竜操中学校区内で活動している、「ウィズはあと」と「ほっとステーション」(東公民館主催講座)の共催で地域の方にもっと身近に発達障害を知ってもらおうと年1回開催しています。



～令和元年度実績～ 令和2年2月7日(金)
地域で・みんなで・子どもを育てよう！
「発達障害を持つ子ども達の卒業後のことを考えてみよう」

講師：カレッジ旭川荘 大月政和様
旭川荘愛育寮 木村友浩様

④親子研修旅行・親睦会（不定期）

さまざまな体験を通して、子どもたちに、人との関わることの楽しさを伝えたり、家族同士の親睦を深めたりする活動を行っています。

(大人同士の親睦も深め、楽しんでいます！！)

～令和元年度実績～

- ・「そうめん流しとボードゲームで遊ぼう♪夏休みスペシャル」
- ・日帰り香川うどん研修旅行
- ・高屋パークフェスティバル出店 他



※今年度は新型コロナの状況に配慮しながら活動していきます。

～平成30年度 京都研修旅行より～



〈参加者の感想〉

- ・耳かきを作らせていただきましたが、貴重な竹を使わせていただき、日本の文化に触れることができました。参加した子どもたちも黙々と作業する姿勢が誇らしく楽しそうでした。これからも継続して子どもたちだけでなく大人たちもしっかり元気をいただける活動をしていきたいです。
- ・京都研修旅行では、箸作りができてとても嬉しかったです。豆腐料理はとてもおいしかったです。

※やむを得ず活動をお休みする場合があります。初めてご参加の方や、詳しい活動内容については、お気軽にお問合せください。よろしくお願いします。

※問合せ先

ショートメール：090-6414-8843（紀伊）

（日中は仕事をしているため、返信には時間がかかる場合があります。ご了承ください。）

尚、活動案内チラシは、東公民館（岡山市中区高屋344-1）にも置いてあります。

NPO法人 岡山県自閉症協会

自閉症児・者（自閉症スペクトラム）へのよりよい理解と支援を目指して

- ・40代の成人から2才の幼児まで、幅広い年代のお子さんを持つ保護者が参加
- ・自閉症の方にかかわる支援者（福祉・医療・教育）
- ・岡山市内在住の会員が過半数
- ・知的障害を伴わない、または軽度の知的障害を伴う自閉症のお子さんが増えている
- ・社会参加して初めて障害に気づき、情報を求めている参加が増えている

本人家族の余暇活動、保護者同士の茶話会、専門家を迎えてのセミナーや勉強会、機関紙発行、イベントなどを行っています。

日本自閉症協会(県下唯一の加盟団体)のASJ保険「自閉症スペクトラムの為の総合保障」(障害疾病定額保険)の加入も可能です。

活動を通じて、「出会いつながり話せる」仲間になりませんか。

主催講演会・研修会、機関誌の発行

- 機関誌は3誌
PAOだより(年6回)、いとしご、かがやき
最先端の情報を発信中。なのはなクリニック
笹野京子児童精神科医のコラム連載中
- オンラインでの研修会も実施

年齢別・地域別部会

- 中学校卒業までの「子ども部」
18歳までの「青少年部」
高校卒業年齢から「成人部」
岡山地区、倉敷地区、東部地区、北部地区など
- 茶話会、ふりかえり勉強会など多数

療育相談会・啓発活動・行政への働きかけ

- ペアレントメンターによる電話相談：
毎週金曜日、11:00～14:00
- 啓発活動
4月2日「世界自閉症啓発デー」に合わせ、ブルーライトアップ等イベント展開
岡山市内公民館で啓発パネル巡回展
- 岡山県障害者施策推進審議会等委員
- 岡山市歯と口腔の健康づくり推進協議会委員、岡山市自立支援協議会、岡山市発達障害者支援地域協議会へ参加

バス旅行・交流会・余暇活動

- バス旅行（今年度は県内）
バス内での会員同士の交流や、本人同士のグループ行動などもあり。（成人の参加が多い活動）
- 12月クリスマス交流会。（成人の参加が多い）
- プロ講師に習う親子工作教室
- 会員だけなので、安心して参加できます。
住んでいる地域関係なく参加できます。

入会のご案内

- 会員：正会員、賛助会員（支援者 個人・団体）
- 会費：正会員（入会金 3,000 円、年会費 8,000 円）
- 途中入会割引有 ※詳細はお問合せ下さい

☆フェイスブック情報発信中☆
(FB 岡山県自閉症協会)
いいねボタンを押すと、
情報が届きます

自閉症って何だろう

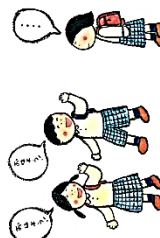
自閉症は、その文字が示すような自分の殻に閉じこもって周囲の人とうちとけないというような状態や障害ではありません。環境や親の育て方が原因でひきこられるものでもありません。

自閉症は、心理的問題ではなく、先天的な脳の発達の偏りからおこる障害（神経発達障害）で、脳での情報処理がうまくいかないことから、コミュニケーションや対人関係に特徴が現れると考えられています。その原因ははっきりつきとめられてはいませんが、遺伝子も含めてさまざまな因子が重なって出現すると考えられています。



現在は次のような特徴から診断されます。

- ① 対人関係、社会性の困難
小さいときは一人遊びが好きで、同年代との集団行動が苦手。極端なマイペース。暗黙の了解や場の雰囲気、相手の気持ちを察するのが苦手。友達を求めながらも交友関係がうまくいかない。
- ② コミュニケーションの困難
視線や表情、身振りを使ってコミュニケーションするのが苦手。オウム返しや独り言、場に合わない発言をすることがある。会話がちぐはぐ。よく話す場合でも、耳で聞いただけでイメージするのは苦手。自分の気持ちを伝えたり、相談することが苦手。こだわりの強い興味がある。
- ③ こだわりや興味の偏りがある。
好きなことには高い集中力、記憶力を示すが、興味の少ないことはとりにくく、思いがけないこと、予定外のことや苦手で臨機応変にできない。考えや行動にこだわりの強いことがある。音や手ざわり、匂い、味覚、痛みなどの感覚が敏感、または鈍感。このほか、多動や不注意、知的障害や学習障害もしばしば同時にみられます。



こうした自閉症特性は濃い人も薄い人もおり、幅広いバリエーションがあるので、その意味で「自閉症スペクトラム（連続体）」といわれます。医学的診断基準では「自閉症スペクトラム障害」または「広汎性発達障害」といいます。知的障害のある人もない人もいますが、半数以上の人は知的障害がありません。知的障害がなく言語能力が高い人を、「アスペルガー症候群」ということもあります。

自閉症は身近な障害です。

最近では自閉症スペクトラムの人は人口の1%以上であると考えられています。暮らししていくのに恒常的な支援が必要な人から、「ユニークな人」として好きなことに才能を発揮して働いている人までさまざまです。誰でも身近で出会う障害です。

自閉症の人は本来、まじめで秩序があることを好み、穏やかにすごしたいと思っています。しかし、育っていく過程では、社会の求める暗黙の了解がわからにくく、コミュニケーションが苦手なので、苦労することが多いのです。感覚が敏感で人にはわからない苦痛を味わったりします。目に見えない障害で、自分で説明することもあり苦手なので、誤解されやすいです。記憶力のよさが災いして、つらい体験が忘れられず苦しむ場合もあります。



早期発見と暖かい支援が必要です。

自閉症は治療して「治る」ということはありませんが、養育や教育の工夫で社会的能力を伸ばしたり、わかりやすく安心できる環境を用意することで本人や家族を楽にしたりできます。そのためには診断を受け、適切な接し方のアドバイスをもらう必要があります。

もし、自閉症の人に会ったら、穏やかに、短く具体的な言葉で話して下さい。身ぶりや文字、物など、目で見てわかりやすいものがあると、情報が伝わりやすいです。すぐに友だちになろうとか、集団に入らせてあげようと思わなくてもいいです。自閉症の人の中には人なつこい人もいれば、突然関わられるのが苦手な人もいます。初対面ではそっと近づき穏やかな声かけをお願いします。



自閉症の人たちは、正直でまじめです。本人に合った場所を選べば、とてもよい働き手になることも多いです。本人たちも働いて家族や地域社会に認められることを望んでいます。現在は保育や義務教育の場での支援は比較的進んできましたが、高等教育や就労、成人期の自立生活についての支援が今後の課題になっています。

どうか、これからも暖かい理解と支援をお願いします。

発達障害を含むカラフルな個性の子どもたちの育ちを支える

カラフルキッズの会 にじのね

カラフルキッズの会 にじのね は、発達障害を含む、個性的な子、他の子となにか違うぞ？という子を**カラフルキッズ**と呼んでいます。(障害、診断の有無は問いません)

現在、カラフルキッズとその家族をはじめ、カラフル親子さん、サポートしたいという方も多く参加して下さっています。

子どもたちそれぞれが自分の色を大切にしながら社会に羽ばたいて行く、その「虹の根っこ」を支える場になればいいなと思っています。

ぜひ初めての方もお気軽にお越しください♪(´▽`)

◎活動内容

☆にじのね座談会

日々の体験や不安なことを話し合ったり、病院や事業所、園や学校などの情報交換をしたりしています。



対象：診断の有無に関わらず、カラフルな個性を持つ子どもを育てるご家族

日時：毎月 最終月曜日
11:00 ~ 14:00(出入り自由)

会場：岡山市内公民館
(回によって場所が変わる場合があります。)

参加費：大人 300 円 子ども無料
ドリンク付き(コーヒー・紅茶など)

※変更になる場合があります。事前にお問い合わせください

ホームページで
公開中♪

親目線で作った

岡山市 児童発達支援・ 放課後等デイサービス一覧

市内全事業所さまへ協力を依頼し、岡山市の事業所一覧情報のまとめをR1年6月、完成させました！

今後も継続的に更新していく予定★
ぜひご活用ください(^▽^)/

カラフルキッズの会にじのね **検索**

現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの座談会やワークショップも企画しています。

詳しい最新情報、お問い合わせは

メール：nijinone.okayama@gmail.com

ホームページ：

<https://nijinone-okayama.jimdofree.com>

にじのね



公式 LINE

にじのね



Facebook

令和2年度版

支援の必要な子と親の会 たんぽぽの会

たんぽぽの会は平成23年、宇野小学校特別支援学級の親子活動からスタートしました。平成24年より独立して活動しています。はじめは学校行事や地域行事参加のためスモールステップをしてきましたが、子どもたちのユニークな発想に支援を考え直すこととなりました。現在は子どもたちの企画を大人がサポートする活動をしています。

子ども企画 対象:テーマによって設定

子どもたちのやってみたいことを大人がサポート。令和元年度は「キャンプ」「浴衣を着て幻想庭園へ行こう」「バイト体験」などを実施しました。また、公民館



を1日お借りして、「今日は一日ゲーム会」もスタートしました。

語る会・親子スクール

子どもたちが「今」必要なこと、語りたいことをテーマにトーク会をしています。「修学旅行あるある準備会」「鬼滅の刃を語る会」「メイクアップレッスン」。
子どもたちに必要なからだのことは毎年定期的に開催。



自立を目指す宿泊体験活動

犬島自然の家施設での一泊研修を重ねています。家族部屋から、大部屋での宿泊もできるようになってきました。



体育館活動 宇野小学校

ショート:毎週金曜日 16:30~18:00
ロング:第3金曜日 16:30~20:30
祝日午後には拡大版で小学校の体育館を中心に活動をしています。

金曜日はバトミントンを中心に活動。祝日は2時間程度体育館で軽スポーツグラウンドでは手作り弓矢もしています。
※場所のみの提供です。家族で責任をもって活動してください。



大人企画

公民館の主催講座で子育てトークふらっとhomeを年4回操山公民館で開催。お父さんトーク会、コペンハーゲン大学の海野先生と佐賀の小松原先生とのタトトークも実現!他の親の会の方のお話を聞いたり、大人も楽しい会を企画。

ふらっとhomeは公民館だよりに掲載



卓球教室 旭川荘厚生専門学院

毎月第2,4火曜日
18:30~19:30
参加費:1家族1回 100円
※現在コロナのため休止中



バンド活動 東公民館・操山公民館

全体活動第2, 4木曜日
19:00~20:00
個別活動第1, 3木曜日
18:30~20:30
年会費1,000円



運営委員会 会員

毎月第4日曜日19:00~宇野コミュニティハウスで運営委員会を実施しています。

(現在コロナのためオンライン会議)

まずはお問い合わせください。

☆連絡先☆ 後藤智子

✉kentomo510@docomo.ne.jp

☎ 090-7974-1840

年会費 1,000円 各活動ごと実費負担

発達障害 の子育て情報 攻略サイト 全部みつかる！！

はじめの一步

新たな一步

岡山の発達障害の情報を集めた
新しい情報サイトが

OPEN

しました♥

岡山 発達障害 つながる さがせる

ぱすてるねっと



OKAYAMA

<https://okayama-pastel-net.com/>

医療と福祉と教育がつながる・さがせる
詳しくは→

ぱすてるねっと

検索



主催 / ぱすてるねっと運営団体

発達凸凹明るい未来づくりの会 あじさい

とは

岡山を中心に、発達に凸凹のあるこどもたち、その家族と活動、支援する団体です。
発達に凸凹のあるこどもたちはトクベツな世界にいらっしゃるのでしょうか？—そんなことはありません。
わたしたちはどんな子どもその子らしく生きていける世の中になるよう働きかけていきます。

あじさい活動指針

相談座談会や
親子活動

育児に悩むママたちの
となりで、一緒にヒントを
探していきます。

発達障害についての
啓発活動

発達障害について、
正しい知識の普及に
努めます。

行政や支援者の方々
との連携を図る活動

機や紙のつながりを作り、
みんなが生きやすい社会
づくりを目指します。

発達凸凹キッズの未来を
明るくしたい!!

あじさい

こどもたちの明るい未来を夢見るなかまを大募集中♥

<HP> <http://ajisai-okayama.jimdofree.com/>

<メール> ajisai.okayama@gmail.com

『ぱすてるねっと』では、賛同・協力して下さる行政・企業団体を求めています!

また、情報提供や掲載協力して下さる事業所や親の会・団体を大募集中です♥

ぜひ!お気軽にご連絡くださいませ♥

あじさい代表 古山 真紀子 Tel 090-6841-9127

2020 あじさいは

みなさまに会いに行きます。



毎月座談会開催!!
岡山市北区・中区・東区・南区・倉敷市・真備
出張座談会します!!
予約不要・子連れOK・診断の有無は問いません
ちょっと話してみたいの ちゃんと覗きに來るだけでも...
ウエルカム♡

『 想い 』

一人で悩まないで!!

一緒にヒントを探しましょう。

なかまになりませんか?♡

がんばりすぎないで!!

平均点60点を「はなまる育児」に

発達障害は「左利き」みたい?!

一緒にコツやツールをさがしましょう♡



5月 倉敷地域

『新学期!不安・困り事・
支援グッズ紹介など』

日時: **開催中止** (日)

10時~12時

場所: 早島中央公民館講座室2

参加費: 200円/人

6月 岡山市中区地域

『子どもの自己肯定感を
高める会話』

日時: 6月23日(火曜日)

10時~12時

場所: 操山公民館研修室

参加費: 200円/人

7月 岡山市南区地域

『夏休み、どう乗り越える?』

一緒にコツやヒントを
探してみよう!』

日時: 7月9日(木曜日)

10時~12時

場所: 灘崎公民館(予定)

参加費: 200円/人

9月 岡山市北区地域

日時: 9月10日(木曜日)

10時~12時

場所: 吉備公民館

参加費: 200円/人

8月イベントDAY!!

日時: 8月2日(日曜日)

10時~14時

場所: 倉敷市帯高727

『つくぼ片山家』

詳細は別紙チラシにて

お知らせします。

楽しい事企画!!

11月 真備地域

日時: 11月12日(木曜日)

10時~12時

場所: 真備公民館(予定)

参加費: 200円/人



※予定変更する可能性がありますので詳しくは
『ほすてるねっ』で
確認宜しくお願いします。



10月 岡山市東区地域

日時: 10月8日(木曜日)

10時~12時

場所: 西大寺公民館

参加費: 200円

くらしのたね 子育て座談会 ～ 発達障害を考えよう ～



参加費
無料

発達障害のお子さんの子育てで悩んでいる皆さん、
発達障害を知りたい皆さん、
お喋りしながら情報交換したり、勉強したりしながら、
自分自身やお子さんを見つめ直す機会にしてみませんか？
月1回、座談会を開催しています。

開催日

第2火曜日
10:00～12:00



【場所】

〒700-0976

岡山市北区辰巳14-101
くらしのたねビル1階

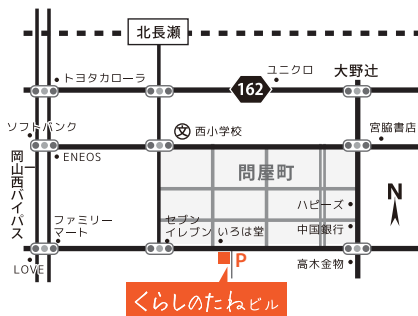
【詳しくはHPにて】



くらしのたね Q

<http://www.kurashinotane.jp/>

f フェイスブックもやっています!



連絡先

くらしのたね

info@kurashinotane.jp



私たちはESDを応援しています。
ESDは持続可能な社会づくりを目指す活動です。

子どもの多様な育ちを応援する会おばーる

おばーるトーク会

個性豊かな子どもたちは、

光の当たり方によってそれぞれ異なる光を放って輝く

宝石の“オパール”のような存在♪

でも、時々子育てに自信が持てなくなることも…

「うちの子、なんだか育てにくいかも・・・」

「子どもが園や学校に行きたがらない」

「この子の個性が環境に合わなくて困ってるのかな？」

オパールさんを育てる保護者さん、

一緒に思いを出し合い、理解を深め合ってみませんか？

特に困り感はないけれど多様な育ちを応援したい保護者さんや、

関心のある方、吉備地区以外の方々も、どうぞ！

- 日時：不定期開催（HP/ブログにてお知らせします）
- 場所：岡山市立吉備公民館（庭瀬 416）
あそび空間ガジュマル（庭瀬 2 - 10）
フォレストハウスおかやま（庭瀬 2 - 1）など
- 対象：幼児から中学生までのお子さんをお持ちの保護者さん、関心のある方
（保護者さんのみ、関心のある方だけの回もあります）
お子さん同伴可
- 参加費：無料
- 申込み・問合せ：090-2935-3341（桑島）
info@npo-attane.com



主催：NPO 法人 Attane（アッタネ）



公民館クラブ講座
主催講座として
開催されているもの

なかよしの会



「なかよしの会」は、みんなが自由に話したり、聞いたり、情報を交換したりする場所、地域で安心して話せる場所を目指しています。

診断があってもなくても、子育てに悩みはつきもの。イライラしたり、泣きなくなったり、成長に嬉しくなったり。そんな悩みや話したいことを、気軽に話しに来ませんか？参加は無料です！

うちの子の困りごと、どうしたらいいのかな？

おすすめの本を知りたいな

イライラしたとき、みんなはどうしているんだろう？

療育ってどんなことをするのかな？

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今年度の「なかよしの会」は、下記のとおり感染防止対策を講じたうえで開催いたします。

今後の感染状況等によっては、対策の変更や会の中止、内容の変更等もありますことをご了承ください。

また、会に参加の際は、感染防止対策にご協力をお願いいたします。ご協力いただけない場合は、会への参加をお断りさせていただくこともございます。

- ★ 入館前、入室前には必ずアルコール消毒又は手洗いを実施してください。
- ★ 来館前には体温を計測してきて、入室前に申告してください。
- ★ ご家族を含め、発熱や咳等の症状がみられる場合、体調がすぐれない場合の来館はご遠慮ください。
- ★ 対人間の距離を保つため、定員を10名とし、事前の申し込み制とさせていただきます。
- ★ 申込みは、毎回、前月開催日以降、当月開催日の前日までとし、定員になり次第締め切ります。
- ★ 参加ご希望の方は、下記QRコードより公式アカウントにご登録のうえお申し込みください。
- ★ 活動中は、窓や入口を開放して換気を行います。
- ★ 当面の間はお子様を連れての参加はご遠慮ください。
- ★ 飲食物の共有は禁止です。水分補給のための飲料は各自ご持参ください。

♪活動日 毎月第一月曜日（裏面をご参照ください）

♪定員 10名
・申込は、前月開催日以降当月開催日の前日までに公式アカウントもしくは公民館まで
・定員になり次第、締め切らせていただきます

♪時間 10時～12時
・前後15分は、感染防止対策のために手洗いや消毒の時間を取らせていただきます。

♪場所 大元公民館 1階福祉室

♪対象者 支援を必要とするこどもの保護者又は関係者



2020年度 活動予定(毎月第1月曜日 10時～12時)



←登録・参加申込は
こちらから
LINE 公式アカウント

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、内容の変更や中止となる場合があります
※すべての回について、事前の申し込み制とさせていただきます。LINE 公式アカウントもしくは
公民館までお申し込みください。
※申込は、前月開催日以降当月開催日の前日までですが、定員になり次第締め切らせていただきます。
※お手数ですが、毎回お申込みください。

2020年 4月6日(月)	座談会 中止
	※5月は公民館休館のためお休みです
6月1日(月)	第1回勉強会 中止 ※定員20名
7月6日(月)	座談会
8月3日(月)	座談会
9月7日(月)	座談会
10月5日(月)	第1回勉強会 ※定員20名 「発達障害とは?～特性の理解と支援の目的～」
11月2日(月)	座談会
12月7日(月)	第2回勉強会 ※定員20名 「障害理解を深めよう～認知行動療法からみる捉え方～」
2021年	※1月は公民館休館のためお休みです
2月1日(月)	第3回勉強会 ※定員20名 「日々の対応を考える～応用行動分析からみる分析力～」
3月1日(月)	座談会

2020年 6月現在

勉強会について

講師 : 綱島 宏之 先生

倉敷市において児童の発達支援に10年以上従事しており、子どもと関わる中で、保護者自身も適切に支援を行っていただけるようにと、様々な理論をわかりやすく、また具体的な支援方法を伝える活動に取り組んでいる先生です。

☆どなたでもご参加いただけます。

☆勉強会へのみの参加、1回のみの参加も可能です。

☆事前に公式アカウントもしくは公民館に申し込みをお願いいたします。

たんぽぽネットワーク

支援の必要な子どもたちの教育を考える会

たんぽぽネットワークは、支援の必要な子どもの保護者を中心に、子どもたちの教育環境をよくするために活動している会です。

岡山市内の小中学校の特別支援学級・特別支援学校等の教育環境や福祉制度などについて学んだり情報交換したりして、それらを改善するために取り組んでいます。また、子育てに関する不安などについて相談したり話し合ったりしながら、就学前から高等部卒業後までのライフステージ全般について考え、運動し、安心して子育てのできる社会を目指しています。

子育てについて

ひとりで悩んでいませんか？

主な活動内容

- ・ 岡山県教育委員会特別支援教育推進室との懇談会(8月頃)
- ・ 岡山市教育委員会、保育・幼児教育課、地域子育て支援課、発達障害者支援センター、障害福祉課等との懇談(8月頃)
- ・ 吉備公民館文化祭のパネル展示で活動の紹介(11月)
- ・ 先輩保護者の話を聞く会
- ・ 学習会、情報交換 など

保育園や小学校への就学、教育環境について情報交換をしましょう！

- ◎ 支援の必要な子どもの教育に関する状況や課題について話し合い、教育環境をよくするために活動する。
- ◎ 子どもをとりまく社会の仕組みや子育て支援などについて学習する。
- ◎ 支援の必要な子どもの親たちのネットワークを作り、交流を図る。

私たちは、弱い子どもたちの立場に立って考えることが、ハンディキャップの有無にかかわらず、全ての子どもたちのためになるものと考えています。

定例会（ミニ学習会や情報交換をしています）

日 時：偶数月の第1土曜日の 13:00～15:00

場 所：吉備公民館

参加費：1回につき200円（資料代等）

奇数月の第1土曜日は、世話人が集まり、世話人会で、県や市への要望内容や学習会の計画等について相談しています。

- ・ 地域の保育園、小学校への就学、学校での様子などについて情報交換をしています。
- ・ 途中からの参加やお子さん連れの参加も大歓迎です。
- ・ たんぽぽネットワークには、様々な立場の人が参加しています。悩みや困っていることを相談しあったり、個人では得にくい情報を交換したりしています。
- ・ 行政に声を届けて、支援の必要な子どもの子育てや教育に関わる環境をよりよいものにしていきましょう！



たんぽぽネットワークに関するご質問・お問合せ

メール: acorn0607@pdx.ne.jp

TEL: 070-5054-2436(フルサワ)

Facebook たんぽぽネットワーク で検索

「ほっとほっと」

（発達障害をテーマとする会）

他所の公民館の勉強会で知り合った保護者同士で、「近くにも集まれる場が欲しい」「問題は毎日起きているので、早めに対応する為に」「都合が合った時いつでも来られるように」と、平成 20 年に発足し、毎月 2 回のペースで活動しています。

現在参加者は少なめですが、その分じっくりと話することができています。傾聴、カウンセリングのスキルを活かして、発達障害以外の悩みに対応することもあります。

まずは、子どもを支えるお母さんが元気になれるよう、ほっとできる場所であり、わかりあえる仲間の存在は心強く、さらに、より良い人生になるようなエッセンスもプラスしています。

当初は小学生だった子ども達は、一般企業で働く大人になり、20 代、40 代の社会人の保護者、孫が中 3 というおばあちゃん。そして 50 代の当事者、と多彩な状況の情報交換をしながら、茶話会をしています。

まずは「ほっと」しにいらして下さい。

活動日時	第 2・4（火） 10 時～12 時
場 所	旭東公民館（岡山市東区西大寺松崎 310-1）
対象者	どなたでも
対象地域	市内全域
活動内容	茶話会
連絡先	旭東公民館 ☎086-943-1154
会 費	お茶代として参加費 100 円

発達障がい定例座談会

あおぞら

令和2年度 日程 いずれも 10:00～12:00

※都合により変更になる場合があります。

「あおぞら」は、いろいろな地域に住む、保護者・祖父母・当事者・支援者などさまざまな世代の方々が集っています。

もっと語りたい、もっと学びたい！

語れば気持ちが楽になり、みんなで悩めばヒントが見付かるかも知れない…

語り合う時間を大切に、時には専門家をお招きして学習したり、時にはリフレッシュできることをしたり etc…可能性は無限大！

長期休み等、お子さんと一緒に参加も大歓迎☆ ぜひ一度、一緒にお話してみませんか。

7月3日

8月7日

9月4日

10月2日

11月6日

12月4日

1月8日

2月5日

3月5日

★ 参加費：無料

★ 申し込み・お問い合わせ：

岡山市立岡西公民館

岡山市北区下伊福西町1-48

電話：253-7581



人・ふれあい・ひろば

光南台公民館では平成19年度より、発達障害について理解を深め、お互いに情報交換や、実際に困っていること等、ざっくばらんに話し合える「交流の場」を開いています。対象地域は特に限定していませんので、みなさんお気軽にお越しください。

……ぼくの場所……

ここはぼくの座る場所ではないです
あそこの、窓の横の、あの机
あそこに、「ここが君の机ね」そう言って
最初に決まったでしょ……
どうして、急に、何度も、
ぼくは、ぼくの場所ではない机に
行かされてしまうのですか？
みんなも
ごちゃごちゃに座るのですか

「ぼくの場所」 藤井 弥生 著より

＜開催日＞

2020 年 4 月	＜お休み＞
5 月	＜お休み＞
6 月 4 日（木）	10 時～12 時
7 月 2 日（木）	10 時～12 時
8 月 6 日（木）	10 時～12 時
9 月 3 日（木）	10 時～12 時
10 月 1 日（木）	10 時～12 時
11 月 5 日（木）	10 時～12 時
12 月 3 日（木）	10 時～12 時
2021 年 1 月 7 日（木）	10 時～12 時
2 月 4 日（木）	10 時～12 時
3 月 4 日（木）	10 時～12 時

【令和2年6月1日 現在】

開催日／第1木曜日 10 時～12 時

会 場／光南台公民館 1 階 研修室（和室）

参加費／無料 申し込み／必要

アドバイザー／藤井 弥生 さん

（岡山県青少年相談員、岡山県発達障害者支援キーパーソン）

お子さんも
一緒にお越し
いただけます

講座参加にあたってのお願い

- ・各回の参加にあたっては、事前に検温いただき、発熱や風邪の症状がないことを確認してください。（症状のある場合は参加をご遠慮ください。）
- ・マスクを着用してください。
- ・手洗いの上、入館時はアルコール消毒をお願いします。

※申込み時にいただいた個人情報はこの講座のみに使用し、他の目的には利用しません。

※暴風警報、大雪警報、特別警報が発令された場合、公民館の行事は中止します。

問合せ／岡山市立光南台公民館

岡山市南区宮浦 1324 電話／FAX 086-267-1255

母と子のおしゃべりコミュニティ

子育て応援サークル

カンガルーポー



★ 子どもの育ちを応援したい

カンガルーポーは通常学級・特別支援学級で支援を受けている子どもを持つ保護者の為の会です。発達障がい基礎知識などのミニ講座や保護者同士の情報交換などを含めた交流の場として活動しています。子育てに関心がある方なら誰でも参加できます。お気軽にお越しください。

上道公民館

西大寺公民館

■ 毎月第2月曜日

■ 毎月第2火曜日

■ 10:00～12:00

■ 10:00～12:00

★年間3回は上道公民館主催講座として開催しています。

岡山市では、上道公民館・西大寺公民館の二か所で活動しています。
学区にこだわらずご都合に合わせてご参加ください。8月はお休みです。
日時は変更することがあります。



活動内容

毎回ミニ講座を行ってからの、テーマトークやフリートークです。
ミニ講座は「発達障がいってなあに?」「おうちで出来る療育」「夏休みの過ごし方」など、すぐに役立つ情報を中心にしています。講座講師はカンガルーポー代表の深瀬みどり(心理カウンセラー)です。主催団体のNPO 法人では子育てに役立つ各種講演会、文化体験活動、自然体験活動などもしています。

主催・NPO 法人 みんなの劇場・おかやま

〒704-8111 岡山市東区西大寺北 946 Tel086-942-1544 E-mail:nfo@npo.sakuraweb.com

☆ 瀬戸内市・備前市でも活動しています。ご都合に合わせて会場を選んでください。

「オレンジクローバーの会」

(発達障害についての学習・情報交換と交流の場所)

オレンジクローバーの会とは

オレンジクローバーの会は「発達障害についての学習・情報交換と交流」を目的に、実際に困っている事をざくばらんに話し合える場所として2010年に発足しました。



オレンジクローバーのオレンジはカラーセラピーでは【交流】を意味し、クローバーはよく繁殖する植物ということから【広がる】をイメージして名付けました。

発達障害や子育てについて一人で悩まれているお母さんもたくさんおられます。勉強会や茶話会を通して、語り合ったり思いを共有したりすることで、オレンジクローバーの会が心の支えとなり、【居場所】の一つになれば幸いです。

また、発達に課題を持つ子どもたちが「いる」ことを、地域やまわりの方に知ってもらう事も支え合いの第一歩だと思います。

なかなかゴールの見えない子育てです。ひとりで抱え込まずにみんなで頑張っていく会にしていきたいと思います。みなさん、どうぞ宜しくお願いいたします。

(代表 井上)

- 【活動日時】 原則として奇数月第4月曜日 10時～12時
- 【会場】 岡山市立上南公民館
- 【対象】 発達障害に興味・関心のある方
- 【対象地域】 主に上南学区ですが、特に限定はしていません。
- 【活動内容】 発達障害に関する茶話会や学習会などを行っています。
また、夏休みは親子で体験活動を行っています。
- 【会費】 無料です。ただし、内容によって、実費が必要な場合があります。
- 【行ってみようかなという人へのメッセージ】
アットホームな会です。お気軽にご参加ください。

お申し込み・お問い合わせ先 岡山市立上南公民館

〒704-8166 岡山市東区君津636

【電話・FAX】(086) 948-3352

【休館日】水曜日、国民の祝日、年末年始

令和2年度のオレンジクローバーの会の活動紹介

7月27日（月）10時～12時

座談会「新しい生活様式がはじまって」

アドバイザー：青野雅世さん（認定NPO法人子どもシェルターモモ理事）

長かった学校休校中、どんな風に過ごしていたのか、子ども達の進学・進級・就労についてや、生活面・学習面など気になることを話しました。小・中・高校生を持つ保護者の方からは、実習や作業所見学の中止があった、最高学年として頑張ろうと思っていたことができなくなった…などのお話がありました。社会人をもつ保護者の方からは、仕事をする中で起こったトラブルやその対応について、本人の悩みを相談できる場所があることの大切さなどのお話を聞くことができました。

青野先生からは、子どもの自己肯定感を育て、子どもが何をしても帰れる安定した地面（家庭・家族・友達など）があることが大切。それがあるから子どもは視野がひろがり、チャレンジしたり自分で選択したりすることができる。「新しい生活様式」の中で、親も子も孤立しない暮らしをしていきましょう。とのアドバイスをいただきました。

今後の予定

- ② 9月28日（月）10時～12時 学習会（予定）
- ③ 11月30日（月）10時～12時 学習会（予定）
- ④ 1月25日（月）10時～12時 学習会（予定）
- ⑤ 3月22日（月）10時～12時 座談会（予定）

会場はいずれも岡山市立上南公民館です。

詳細は上南公民館までお尋ねください。皆さんの参加をお待ちしています。

ゆるゆるすくすく♡そうなん

なんだかうちの子はほかの子とちょっと違う気がする。どうしてうちだけこんなに大変なんだろう？発達障害のわが子の子育てに悩んでいる・・・

ゆるゆるすくすく♡そうなんは、発達が気になるお子さんの保護者の方と、支援者の方が集まり、ゆるやかにつながっておしゃべりや情報交換をする場所です。時には専門の講師をお招きして、勉強会をすることもあります。初めての方もお気軽においでください。

原則毎月第1木曜日の10時～12時

時間内出入り自由。いつ来ていつ帰ってもかまいません。

場所：操南公民館

申込：必要 開催日が変更になることがありますので事前にお申し込みください。



メールでのお申込は
こちらから

- ・風邪症状や咳のある方は参加をご遠慮ください
- ・マスクを着用してご参加ください。
- ・飲み物は各自で持って来てください。
- ・新型コロナウイルスの感染の推移によっては、講座が中止になる場合もありますのでご承知おきください。

お申込み・お問い合わせ

岡山市立操南公民館

岡山市中区藤崎201-4

TEL/FAX 086-276-7898

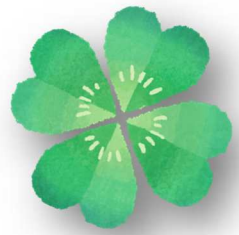
発達障害のこといろいろ一緒にしゃべりませんか？

はなみずきの会

発達障害について、いろいろな話が気軽にできる場があればいいな…という声がありました。

そこで、みんなで気軽に、一緒に話せる場として“はなみずきの会”を開催しています。（毎月1回／第2金曜日）

話したいなあ…とか、聞いてみたいなあ…とか、いろいろお話できたらと思っています。ぜひ、お気軽におこしてください。



- 日 時 第2金曜日 10:00～12:00（8月はお休み）
- 会 場 高島公民館（岡山市中区国府市場 99-5）
- 費 用 無料
- 持参品 飲み物（水分補給のため）
- 申 込 事前申込をお願いします。当日も受け付けますが、人数によってはお部屋に入れない場合もあります。

※来館前には検温を行うなど体調管理をして、マスク等を着用してご来館くださるようお願いします。

「はなみずきの会」に参加されるみなさまへ

はなみずきの会は、誰でも参加することのできる会です。

みんなが心地良い場となるために、下記のことについて守ってくださいますよう、お願いします。

①はなみずきの会での話はその場限りでね

時には、自分自身のことや家族の話など、ここだから話せるようなこともありますよね。

②違いを認め合おう

自分と違う考えを持っている方がいても否定しないで。お互いを大切に。

③わからないことは、聞こう

なんとなくわかった気がする…ってのがイチバンやっかいなんです（誤解のもと！）

恥ずかしがることなんてなにもないですから、ちゃんと聞いてくださいね。

申込・お問い合わせ

高島公民館 TEL&FAX 086-275-1341

✉ takashimakouminkan@city.okayama.lg.jp



トモスカイ津高



**発達の凸凹って何だろう？
きちんと知って、丁寧に育てたい。**

学校生活や日常生活などに困り感をもつお子さんやそのご家族、そして支えてくださる地域の方のつどいの場。

みんなで子どもの成長を見守ります。

毎月 第2火曜日

10:00~12:00

津高公民館 研修室

※イベントなどで予定を変更する場合があります。
初めて参加される方は公民館にご確認ください。

こんな活動しています

座談会

参加者の方同士の情報交換や、日ごろの悩みを相談したりしています。先輩ママも頼もしい。ほっとするひとときに、帰るときには自然に笑顔に♪

講演会・勉強会

専門家の方や、色々なことを乗り越えた当事者の方などのお話を聞きます。日常生活を少し楽にするヒントが見つかるかも。

お楽しみ活動

たまには思いっきりリフレッシュ！体を動かしたり、イベントを楽しんだりしましょう。クリスマス会やバレンタインなど、公民館だよりをチェック！

コロナ対策について

- ・事前に申込みをお願いいたします(各回定員10名)
- ・マスク・上靴・水分補給用の飲み物を持参ください。
- ・当日体調不良の場合は参加をご遠慮ください。
- ・こまめな手指消毒・手洗いに協力をお願いいたします。

岡山市立津高公民館

岡山市北区栢谷 1677

TEL:FAX 086-294-4222

「ぐるんぱの会」～みんなで知ろう！発達障がい～

「ぐるんぱの会」は、子育てに悩みや不安がある方、発達障がいなどがあるお子さんをもつ保護者の方、地域の支援者が集まり、悩みを話し合ったり、情報交換を行っている場です。また、学習会なども計画しています。まずはお気軽にお越しください。



会の名称の由来：絵本「ぐるんぱのようちえん」

ぐるんぱは、ひとりぼっちの大きなぞうです。ビスケット屋さん、靴屋さん、ピアノ工場、自動車工場……。ぐるんぱは、色々な仕事場で一生懸命に働きますが、つくるものが大きすぎて失敗ばかり。そんなときぐるんぱは、子どもがたくさんいるお母さんに会います。子どもたちの世話をたのまれたぐるんぱは、とても素敵なものを作ります。それはぐるんぱが作った大きなものでたくさんのお子もたちが遊べる、すてきな幼稚園でした。

西内 ミナミ 作／堀内 誠一 絵 福音館書店〔HPより出典〕

＜日 時＞ 原則として毎月第3土曜日 14：00～16：00

＜場 所＞ 富山公民館

＜対 象＞ 保護者、支援者、地域の福祉教育支援活動に関心のある方など

＜参加費＞ 無 料

＜託 児＞ 公民館へ事前申し込み（開催日の1週間前までに）
託児料：子ども一人につき300円（当日集金）

＜申し込み・問い合わせ＞

富山公民館 岡山市中区福泊 246-1 電話（086）274-0827
Eメール tomiyaamakouminkan@city.okayama.lg.jp

＜お願い＞ ※来館前に検温の上、マスクを着用してご参加ください。
※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために茶菓子はだしていません。飲み物が必要な方は、各自でご持参ください。

☆専門知識をもつ地域の支援者

主任児童委員、児童家庭支援センターの相談員、学校の支援に携わる方、学童保育指導員、障害福祉サービス事業関係者なども参加されています。

☆計画中の学習会

子育て講座、発達障がいに関する学習会、先輩保護者の体験談を聞く会など。

子育て茶話会

すまいる

日時 : 第2土曜日
19:00~21:00

場所 : なたさき公民館

連絡先 : 086-362-0408

参加費 : 1回100~200円程度
マイカップ持参

支援の必要な子供を
育てているお母さんの会

お父さんでも
OK

日々の子育ての中...
誰にも言えない悩みや、グチをこぼしたいけど
がまんして がんばっている お母さんたち。
ここでは 心配や不安も 吐き出して いいよ。
みんなに 共感してもらい、励まされて
心をリセットできる...そんな 空感になっています。
お菓子も 食べ、お茶を飲み、
帰る頃には すまいる 全開 😊
どうぞ、遊びに来て下さい。

ほっとステーション

申し込み不要・参加無料

日時：7月3日、9月4日、
11月6日、1月8日、
3月12日

※すべて金曜日、午前10時～12時

お茶やお菓子をいただきながら、情報交換をしたり、お互いの悩みや気持ちを語り合ったりしています。

障がいとともに生きる上での悩みや葛藤を家庭だけで抱えこまない為に、さまざまな人たちの愛と理解でつながっていかれたらと考えています。

心の中を語ることで次の一歩につながっていく、そんなステーションを目指しています。誰かに聞いてもらだけでも気持ちが楽になりますよ。

保護者の方、支援者、地域の方、どなたでもご参加いただけます。

どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

問い合わせ…

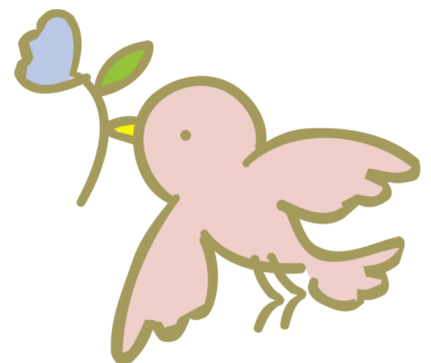
岡山市立東公民館

岡山市中区高屋344-1

TEL 086-271-1911

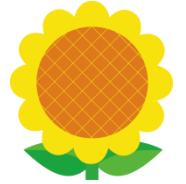
開館時間：午前9時半～午後9時（日曜は午後5時閉館）

休館日：水曜日、祝日（祝日が水曜日と重なった場合は翌木曜日も休館）、年末年始（12/28～1/4）





ひまわりサポーターズクラブ



“発達障がい”という言葉を目にするけど、それってどんなこと？
 “発達障がい”について、よく知っている人、今、悩んでいる人、昔悩んだひと…
 “発達障がい”の言葉を聞いたことがない人も。

この会では、“発達障がい”にかかわる人たちの、情報交換や学習会をしています。

興味・関心のある方なら、どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

★日 程：毎月第4木曜日 10:00～12:00（変更の場合あり）

★場 所：岡山市立東山公民館

★参加費：100円（初回は無料です）

途中参加、途中退席OKです！お子様連れの参加も大歓迎！



★こんなことをやってます！！

- ・ 定例会 日ごろの困りごとや疑問などを話す場です。同じ悩みを持つ様々な年代の人と話し合うことで心のモヤモヤを軽くしましょう。
- ・ 季節ごとに子どもを交えた交流イベント
 夏：カレーづくり 冬：クリスマス会
- ・ 交流ランチ会 お店にでかけたり公民館でお弁当を食べたり
- ・ 勉強会 教育委員会の方や中学校の特別支援学級の先生などを講師にした勉強会
- ・ 夜のひまサポ お仕事をしている保護者の方でも参加できるように夜の勉強会

<学習会>

★日時 8月20日（木）10:00～12:00

★内容 にこぴかセミナー

「特性に合わせたお片づけ」

★講師 松井 朋美先生

（整理収納サポート にこぴか代表）

※事前申し込み必要。東山公民館まで

◆主催 岡山市立東山公民館

〒703-8282 岡山市中区平井四丁目 13-33

Tel / Fax 086-276-6202

E-mail :

higashiyamakouminkan@city.okayama.lg.jp

<夜のひまサポ>

①「家庭学習の支援について」

★日時 9月4日（金）18:00～20:00

★講師 古山 真紀子先生

（NPO 法人あかねスタッフ・発達に凸凹のある子育てサポーターひいさば代表）

②「黒田みきこ先生を囲んで茶話会」

★日時 11月28日（土）18:00～20:00

★講師 黒田みきこ先生

（にじいるスクエアせとうち）

※①②とも、事前申し込み必要。

東山公民館まで

おりんこクラブ

のおしゃべり会

月に1回、発達障害について語り合ったり学び合ったりできる場です。
子育てで気になることがある方、子どもの言葉が遅いと感じる方、
発達障害のある方や保護者の方、いっしょに語りたい方など、
お気軽にご参加ください♪

令和2年度の予定			
①	6月26日(金) 10～12時	②	7月17日(金) 10～12時
③	8月28日(金) 10～12時	④	9月25日(金) 10～12時
⑤	10月23日(金) 10～12時	⑥	11月27日(金) 10～12時
⑦	12月18日(金) 10～12時	⑧	1月22日(金) 10～12時
⑨	2月26日(金) 10～12時	⑩	3月19日(金) 10～12時

(原則、毎月第4(金)の午前中ですが、変更や中止の場合があります。必ず事前にお申し込みください。)

- 定員：各回10名(先着順) ■参加費：無料
- 持ち物：水筒、筆記用具、マスク、お子さん連れの方はおもちゃなど
- 場所：岡山市立万富公民館(岡山市東区瀬戸町万富257)
- 託児：託児はありません。お子さんと一緒に参加できます。
- 申込み：必要。来館または電話でお申し込みください。
(電話：086-953-0610) 水曜・祝日休館

新型コロナウイルス感染症防止のためのお願い

- ① 事前に検温を行い、体調不良の場合には来館をお控えください。
- ② マスクの着用など咳エチケットや、手指のアルコール消毒にご配慮ください。
- ③ 人数を把握するため、必ず事前にお申し込みください。
- ④ クラスター(感染者集団)が発生した場合、保健所等に参加者名簿を提出することがあります。ご了承ください。

【主催・申込み・問合せ】岡山市立万富公民館(水曜・祝日休館)

岡山市東区瀬戸町万富257 電話(086)953-0610

ふらっとhome ～子育て トーク会～

ふらっとhomeでは、子育ての悩みなどを参加者みんなで話し合っています。

今年度は、3密を避けるため、「支援の必要な子と親の会 たんぽぽの会」のメンバーやアドバイザーとのミニおしゃべり会を開きます。心配事もまずは、おしゃべりで話す（離す）ことで心を軽くしていきませんか？

- 日程 年に4回程度。10時～20時の間で1組1時間位を目安におしゃべり会を行います。
詳細は公民館へお問い合わせください。
- 定員 各回1～2名ずつ(先着順、友達と一緒にの参加OK)

※飲み物は各自ご持参ください。

※託児はご相談ください。

子どもが部屋の中で過ごせるものをお持ちください。

お願い

- ・来館前に検温し、熱がある時や体調不良の時は来館しないでください。
- ・マスク（なければ代替品）の着用をお願いします。



ソーシャルディスタンスに気をつけて
小人数グループでのおしゃべり会で
進めています。

「支援の必要な子と親の会 たんぽぽの会」とは？

平成23年、宇野小学校特別支援学級の親子活動からスタートしました。平成24年より独立して活動しています。はじめは学校行事や地域行事参加のためスモールステップをしてきましたが、子どもたちのユニークな発想に支援を考え直すこととなりました。現在は子どもたちの企画を大人がサポートする活動をしています。

申込み・問合せ 岡山市立操山公民館 岡山市中区国富3-9-1 2

TEL/FAX：(086) 271-5030

主催：御南西公民館／くらしのたね

協力：社会福祉法人 南野育成園

子育て座談会

～ 発達障害を考えよう ～



参加費
無料

要申込

発達障害のお子さんの子育てで悩んでいる皆さん、
発達障害を知りたい皆さん、
お喋りしながら情報交換したり、勉強したりしながら、
自分自身やお子さんを見つめ直す機会にしてみませんか？
月1回、座談会を開催しています。

開催日

第3月曜日

10:00～12:00

※8月は8/20です。

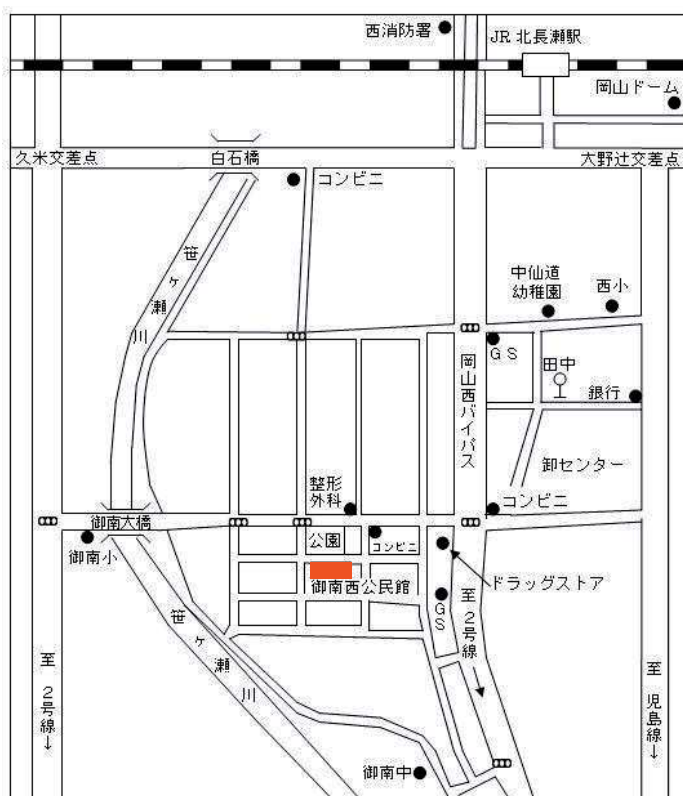
【場所】

岡山市立

御南西公民館

〒700-0951

岡山市北区田中157-110



【詳しくはHPにて】



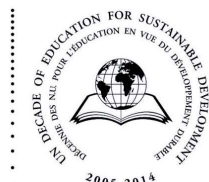
くらしのたね

<http://www.kurashinotane.jp/>

フェイスブックもやっています！



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



私たちはESDを応援しています。

ESDは持続可能な社会づくりを目指す活動です。

問
合
せ

岡山市立御南西公民館
(086)244-1855

裏面もごらん下さい



主催：御南西公民館/くらしのたね
協力：社会福祉法人 南野育成園

子育て座談会

～発達障害を考えよう～

- ◆ 参加費無料・申込必要（毎回定員 15 人）
- ◆ お子様連れでも参加もできます。
- ◆ 感染症予防の為マスクを着用下さい。
- ◆ 体調が悪い場合は来館を控えて下さい。

令和2年度 スケジュール

状況によって変更・中止となる可能性があります。

回	日 時	内 容
1	7月20日（月）10～12時	初めましての会 ～発達障害って何？～
2	8月20日（木）10～12時	夏休み企画 “子ども哲学”
9月の第3月曜日は、敬老の日でお休みです。		
3	10月19日（月）10～12時	座談会
4	11月16日（月）10～12時	座談会
5	12月21日（月）10～12時	座談会
6	1月18日（月）10～12時	座談会
7	2月15日（月）10～12時	座談会
8	3月15日（月）10～12時	座談会

お問合せ：岡山市立御南西公民館

〒700-0951 岡山市北区田中 157-110 TEL/Fax 086-244-1855

【休 館 日】 水曜日と祝日 祝日が水曜日と重なった場合は、翌木曜日も休館

【開館時間】 9時30分～21時（日曜日は17時まで）

令和2年度「子育て座談会」参加申込書

No. _____

住 所 岡山市 区 TEL _____

ふりがな

氏 名 _____（年齢 歳／ 性別 男・女）

ふりがな

氏 名 _____（年齢 歳／ 性別 男・女）

ふりがな

氏 名 _____（年齢 歳／ 性別 男・女）

ご記入いただいた個人情報は、この講座以外に使用しません。

就学相談Q & A

岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課

Q. 就学相談は、いつから出来ますか？

- ・岡山市では、「2年越しの就学相談」を進めています。
- ・「2年越し」とは、保育園や幼稚園、認定こども園の年長児や、小学校6年生になってからではなく、その前年度（4歳児、小学校5年生、中学校2年生）から相談を始めるということです。
- ・在籍校園と相談し、就学予定校の見学や相談を早目に行ってください。
- ・土曜授業やオープンスクールなどの見学をしていただくことも可能です。日時は各学校ごとに異なりますので、学区の学校にお問い合わせください。



Q. 就学相談では、どんなことが相談できますか？



- ・お子様の実態（障害の程度）を踏まえて、学校でできる支援や学習の進め方等について相談することができます。また、在籍児童生徒が実際に学習している様子などを見学していただくこともできます。

Q. 学校での相談に当たって、必要なものがありますか？

- ・お子様の実態（障害の程度、生育歴、教育や保育等の状況等）が分かるような、参考となる資料がございましたらお持ちください。（相談支援ファイル「りんくる」、発達検査の結果、診断書、療育手帳、身体障害者手帳等）



Q. 特別支援学校と特別支援学級はどう違うのですか？



- ・特別支援学校と特別支援学級の違いは、対象としている子どもの障害の種別や程度が異なるという点です。障害の程度の判断や就学する学校等の決定に当たっては、本人の障害の程度、教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制整備の状況その他の事情を総合的に判断し、決定します。

Q. 特別支援学校ではどのような教育が受けられますか？また、どのような種別の特別支援学校がありますか？

- ・特別支援学校では、個々の子どもの障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、個別の教育的ニーズや障害の程度等に応じて、個別的教育支援計画や個別の指導計画に基づいた教育内容、方法により指導しています。また、学校施設・設備も在籍する子どもの障害や教育内容に合わせて整備しています。
- ・種別は**視覚障害教育（盲学校）、聴覚障害教育（聾学校）、病弱教育（支援学校）、知的障害教育（支援学校、高等支援学校）、肢体不自由教育（支援学校）、訪問教育（支援学校）**があります。



Q. 特別支援学級とはどのような学級ですか？



- ・特別支援学級は、小中学校において障害の程度の軽い子ども（※）が日常生活の自立と社会参加を図るために、一人一人の障害の程度や特性等に配慮した指導を行うための学級です。
- ※他人との意思疎通に軽度の困難があり、日常生活を営むのに一部援助が必要な程度の子どもをいいます。

Q. それぞれの特別支援学級の対象となるのは、どのような子どもですか？

（１） 弱視特別支援学級

対象となるのは「拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な程度のもの」です。「視覚による認識が困難な程度のもの」とは、通常の学級に在籍する子どもに比べて通常の文字等の認識に時間を要するとともに、特定の教科等の学習が通常の学級においては支障があり、かつ障害による学習上生活上の困難を改善・克服するための指導が系統的・継続的に必要な状態をいいます。

（２） 難聴特別支援学級

対象となるのは「補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが困難な程度のもの」です。「話声を解することが困難な程度のもの」とは、補聴器を使用した状態で通常の会話における聞き取りが部分的にできにくい状態で、特定の教科等の学習において聴覚活用や音声言語の理解について支障があり、かつ障害を改善・克服するための特別な指導を系統的・継続的に行う必要がある状態をいいます。

（３） 知的障害特別支援学級

対象となるのは、「知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難である程度のもの」です。

療育手帳を所持している子どもは対象となります（※）。

※療育手帳を所持している子どもは、基本的には自閉症・情緒特別支援学級の対象ではありません。

（４） 自閉症・情緒障害特別支援学級

対象となるのは、「①自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度のもの」及び「②主として心理的な要因による選択性かん黙等があるもので、社会生活への適応が困難である程度のもの」です。

自閉症、自閉症スペクトラム障害（ASD）、広汎性発達障害（PDD）の診断がある子どもは対象となります（※）。

※注意欠如・多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）だけの診断のある子どもは、対象ではありません。

（５） 病弱・身体虚弱特別支援学級

対象となるのは、「①慢性の呼吸器疾患その他の疾患の状態が継続的又は間欠的に医療又は生活の管理を必要とする程度のもの」及び「②身体虚弱の状態が持続的に生活の管理を必要とする程度のもの」です。

慢性疾患等により入院加療中で、医師が適当と認めた子ども、病状が落ち着いており院内学級へ自力で移動できる子どもは対象となります。



Q. 「知的障害特別支援学級」「自閉症・情緒障害特別支援学級」では、どのような学習をしていますか？



- ・知的障害特別支援学級では、特別の教育課程（学びの内容）を編成した上で、小集団の学習環境を整備し、通常の学級に在籍する子どもとの交流及び共同学習を適切に進めたり、個別対応による指導を行ったりしています。子どもの障害の程度等から、特別支援学校（知的障害）の学習指導要領を参考として、特別の教育課程を編成することが認められています。
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級では、人との関わりを円滑にし、生活する力を育てることを目標に指導を進めています。教育課程は、原則として小学校又は中学校の学習指導要領によるものです。ただし、通常教育課程では十分に学習の成果を上げることが困難な場合は、一部下学年の内容を扱うことがあります。

Q. 特別支援学校や特別支援学級には、本人や保護者が希望すれば、就学することができますか？

- ・希望する全ての子どもが、特別支援学校や特別支援学級に就学できるものではありません。特別支援学校、特別支援学級への就学については、保護者の意見を十分伺うとともに、教育学、医学、心理学その他の障害がある子どもの就学に関する専門的知識を有する専門家の意見を聴取した上で、「岡山市就学に係る意見聴取の会」において、障害の程度に基づき、教育委員会が総合的に判断します。

したがって、その判断が子どもや保護者の希望どおりにはならない場合もありますが、その時点の子どもにとって最も適切な学びの場に就学できるよう相談を繰り返し、最終的な就学先を決めることとなります。



Q. 特別支援学校と特別支援学級のどちらの対象かを、どのように判断すればいいですか？



- ・特別支援学校又は、特別支援学級かを保護者が悩んでいる場合は、現在、在籍している学校園や、かかっている医療機関、相談している専門機関にできるだけ早めに相談してください。ただし、特別支援学校へ就学を希望するためには、通学区域の学校で教育相談を受ける必要があります。8月中には本人と保護者で教育相談を受け、就学意思表示をしてください。その際に子どもの障害の程度等を伝えることで、特別支援学校の対象であるかどうかはある程度分かります。それでも迷う場合や、尋ねたいことがある場合は、岡山市教育委員会（指導課教育支援室）担当者まで相談してください。

Q. 知的障害と自閉症・情緒障害など、複数の障害のある子どもの就学はどのように考えればいいですか？

- ・例えば、知的障害だけでなく自閉症や情緒障害もある子どもがいます。その場合は、どちらが主の障害であるかについて、保護者や医師等の専門家、在籍学校園、就学を希望する学校が慎重に協議することが必要です。特別支援学級を希望する場合、知的障害がある場合は、原則として知的障害を主として就学相談を進めます。特別支援学校を希望する場合、肢体不自由と知的障害、視覚障害と知的障害等の重複障害がある場合については、所持している手帳や医師の診断、発達検査の結果等をもとに慎重に協議して判断します。



Q. 就学後に通常の学級から特別支援学級に、または特別支援学級から通常の学級に移る(転籍する)ことはできますか？



- ・一旦就学した後でも、通常の学級と特別支援学級の間で転籍すること（学びの形態を変更すること）は可能です。子どもにとって最適な学びの場を考えた上で就学した場合でも、適応しにくくなることはあります。しかし、就学してすぐ、短期間で転籍することや、転籍を繰り返すことは、子どもの学びにとって適切であるとは言えません。学習内容や支援の方法を再検討し、その子どもにとって最適な学びの場となるようにすることが大切です。（ただし、インクルーシブ教育システムの構築が国の方向性として示されたことから、子どもの障害の程度や学習・支援の状況をふまえて、通常の学級と特別支援学級（障害種別も含めて）の双方向で、学びの場を必要に応じて考えていくことが求められています。

Q. 就学後に小中学校から特別支援学校に、または特別支援学校から小中学校に移る(転学する)ことはできますか？

- ・就学後に小中学校と特別支援学校の間で転校（転学）することは可能です。この場合は、障害の状態の変化のみならず、その者の教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制の整備の状況その他の事情の変化によっても転学の検討をすることが考えられます。しかし、小中学校と特別支援学校の教育課程（学びの内容）が大きく異なり、学習内容や学習環境が大きく変化することになり、実際に転校した子どもが混乱するケースもあります。そのため、転学を検討する場合は、再度就学相談を行い、在籍学校と保護者、教育委員会でしっかりと相談することが必要です。



Q. 通学区域以外にある特別支援学級への就学はできますか？その場合は、どこに、どのように相談すればいいですか？



- ・特別支援学級へ就学する場合も、通常の学級と同様、居住している通学区域の学校へ就学するのが原則です。しかし、居住している通学区域に該当の特別支援学級が設置されていない場合は、通学区域外の学校の特別支援学級へ就学を考える必要があります（※）。その場合はまず、保護者及び本人が通学区域外の学校で教育相談を受け、希望の意思を伝えます。希望された学校は、校内就学相談委員会を開いて受け入れについて協議し、その回答を保護者と在籍学校園に伝えます。ただし、学校は原則として通学区域内の子どもを優先して受け入れますので、結果として通学区域外の子どもを受け入れることができない場合もあります。その場合は、更に別の学校で教育相談を受けることになります。
- ※次年度に該当の特別支援学級が新設されるかどうかについても確認が必要です。居住している通学区域の学校に、該当する特別支援学級がある場合は、特別の事情がある場合を除き、その学校へ就学します。

Q. 市外への転居が決まっています、転居先の市町村で特別支援学校や特別支援学級への就学を希望している場合は、どのような手続きが必要ですか？

- ・保護者はまず、在籍校園に転居先の自治体や希望する学校（学級）等について連絡します。連絡を受けた学校園は、その内容を岡山市教育委員会担当に連絡します。市町村ごとに就学相談に必要な手続きや書類が異なりますので、その後、教育委員会で連携を図り、就学に関する資料の収集や授受等を行うこととなります。ただし、その場合は機関連携についての保護者の了解や、就学に関する意思確認が必要ですので、教育委員会の指示で、学校園が保護者の意向を聞き取り、教育委員会に連絡します。



Q. 市(県)外から岡山市内に転居して来る予定で、特別支援学校や特別支援学級への就学を希望する場合はどうすればいいですか？

- ・保護者は、まず岡山市教育委員会へ連絡し、転居先や希望を伝えます。連絡を受けた教育委員会は、保護者の了解のもと、転居元の教育委員会と連携を図り、就学資料の授受等をしていくこととなります。また、特別支援学校を希望する場合は岡山市教育委員会と岡山県教育委員会が、特別支援学級を希望する場合は岡山市教育委員会と居住する通学区の学校が、それぞれ連絡を取り合って就学相談を進めます。この場合も保護者の了解と意思確認が必要です。



Q. 特別支援学級に在籍して、通常の学級で学習することはできますか？また、その逆(通常の学級に在籍して特別支援学級で学習すること)はできますか？

- ・特別支援学級に在籍する子どもが通常の学級で学習することは、子どもの実態に応じて実施しています。この学習は「交流及び共同学習」と位置付けられており、学習する学級を「交流学級」と呼んでいます。実際に学習する教科や時間数は、子どもや保護者と学校とが相談して決めています。また、授業以外にも学校行事や給食、清掃、学級活動などの機会を通して、交流学級の子どもと一緒に活動する場合があります。ただし、「交流及び共同学習」をどの程度実施するかについては、一定の基準を設けています。例えば、週20時間以上実施する場合、特別の教育課程（学びの内容）を組むことができる特別支援学級に在籍する必要があるかどうかについて疑問が生じます。岡山市では原則として、授業時数の半分程度が上限であると考えています。ただし、自閉症・情緒障害学級から通常の学級への転籍を予定している子どもについては、その限りではありません。また、通常の学級に在籍して特別支援学級で学習することはできません。



Q. 「通級指導教室」で行われる通級による指導とは、どのような指導ですか？また、対象となるのはどのような子どもですか？



・通級による指導は、学校教育法施行規則第 140 条及び 141 号の規定に基づき実施するもので、岡山市では、通級による指導を行う教室を「通級指導教室」と呼んでいます。これは、小中学校の通常の学級に在籍する子どもが、通級指導教室に通級して特別の指導を受けるという教育形態です。したがって、特別支援学級に在籍している子どもは通級による指導の対象ではありません。対象となる子どもは以下のとおりですが、通常の学級における適切な配慮や指導方法の工夫のみでは、その障害の状態の改善・克服が困難であり、その障害に応じて一部特別の指導が必要であると判断される場合に指導を受けることができます。通級する子どもは、大半の授業を通常の学級で受けながら、障害の程度に応じて週 1～8 時間通級による指導を受けることが可能です。また、指導の形態は、実態に応じて個別指導やグループ指導を行っています。なお、知的障害のある子どもについては、発達の遅れや特性から、通級による指導よりもむしろ発達の状態に応じた特別の教育課程（学びの内容）や指導法により指導することが効果的であることから、通級による指導の対象ではありません。

(1) 言語障害通級指導教室

言語障害（構音障害や吃音等）、学習障害（LD）のある子ども

(2) 情緒障害通級指導教室

自閉症、自閉症スペクトラム障害（ASD）、学習障害（LD）、注意欠如・多動性障害（ADHD）、情緒障害等のある子ども

(3) 聴覚障害通級指導教室

聴覚障害のある子ども

Q. 「通級指導教室」ではどのような指導が受けられますか？

(1) 言語障害通級指導教室

言語障害通級指導教室では、正しい音の認知や模倣、構音器官の運動の調整、発音・発語指導など構音の改善にかかわる指導、遊びや日常生活の体験と結びつけた言語機能の基礎的事項に関する指導を行っています。

(2) 情緒障害通級指導教室

情緒障害通級指導教室では、個々の子どもの障害の内容や程度により、指導目標や指導内容を計画して指導しています。具体的には情緒の安定に関すること、状況の理解と変化への対応に関すること、他者とのかかわりの基礎に関することなどをコミュニケーション、ゲーム等を通して指導しています。また、障害が原因となって各教科の学習につまづきが見られる場合で、特に必要があるときには、障害の程度に応じて学習の補充を行うことはありますが、自立活動に相当する内容の指導を行うことを基本としています。

(3) 聴覚障害通級指導教室

岡山市内の小中学校に在籍する子どもが希望した場合、県立岡山豊学校で通級による指導を受けることができます。

聴覚障害通級指導教室では、定期的に聴力を測定し、個の実態に応じた聴覚・言語・コミュニケーションの指導等を行っています。



Q. 就学にあたって、身体障害者手帳や療育手帳を取得した方がいいですか？

- ・障害者手帳は、障害者の支援を目的とした各種福祉制度を利用するために、取得するものです。したがって、就学のために取得する必要はありません。障害者手帳は、障害種別によって身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳の3種類があります

(1) 身体障害者手帳

身体障害者手帳は、発症（受傷）から一定の期間を経過して身体に永続する障害（定められた程度以上）のある方が対象となります。それぞれの障害種別や程度により、1級～6級の等級に分かれています。交付の対象となる障害は、視覚、聴覚、平行機能、音声・言語・そしゃく機能、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・運動機能）、心臓機能、じん臓機能、呼吸器機能、ぼうこう又は直腸機能、小腸機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能、肝臓機能の障害です。

(2) 療育手帳

療育手帳は、知的能力の障害が発達期（概ね18歳まで）に現れ、日常生活に何らかの援助を必要とする状態にある方が対象です。18歳未満の方は岡山市こども総合相談所、18歳以上の方は岡山市障害者更生相談所の判定が必要です。手帳の等級は、障害の程度によりA（最重度・重度）とB（中度・軽度）の区分があります。

(3) 精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳は、知的障害を除く精神障害のため、長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある方が対象です。入院・在宅による区別や、年齢による制限はありません。また、手帳の有効期間は2年間で、手帳の障害等級は精神障害の状態に応じて1級～3級が認定されます。

詳しくは、申請窓口へお問い合わせください。

《申請窓口》

身体障害者手帳・療育手帳 ⇒ 各福祉事務所

精神障害者保健福祉手帳 ⇒ 各保健センター



Q. 特別支援学校や特別支援学級の1学級の人数(定員)は何人ですか？定員を超えた場合はどうなりますか？

- ・「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」によって、1学級の定員は次のように決められています。

◆通常の学級…40人（小学校1・2年生は35人）

◆特別支援学級…8人（どの障害種別でも同じ）

◆特別支援学校…6人（重複の障害のある子どもで編制する場合は3人）

また、次年度の4月に1学級の人数が上記定員を超えることが確実な場合は、学校から教育委員会へ学級の増設を要望します。この場合は、原則として次年度から学級が増設されますが、年度途中で定員を超えた場合は、学級が増えることはありません。



Q. 「特別支援教育支援員」はどのような場合(学校)に配置されますか？



・特別支援教育支援員は、学校の特別支援教育にかかる支援体制を補うものとして、岡山市教育委員会が配置しており、車いすでの移動の補助等の生活支援、学習の補助、教室から飛び出したりかんしゃくを起こしたりした子どもの安全確保等の業務に当たっています。なお、採用に際しては、特に資格を求めています。配置に当たっては、学校が教育委員会へ要望し、教育委員会が具体的な子どもの状況や配置後の活用等について調査した上で、総合的に判断して決定しています。また、医療的ケアを行う看護支援員を配置している学校もあります。

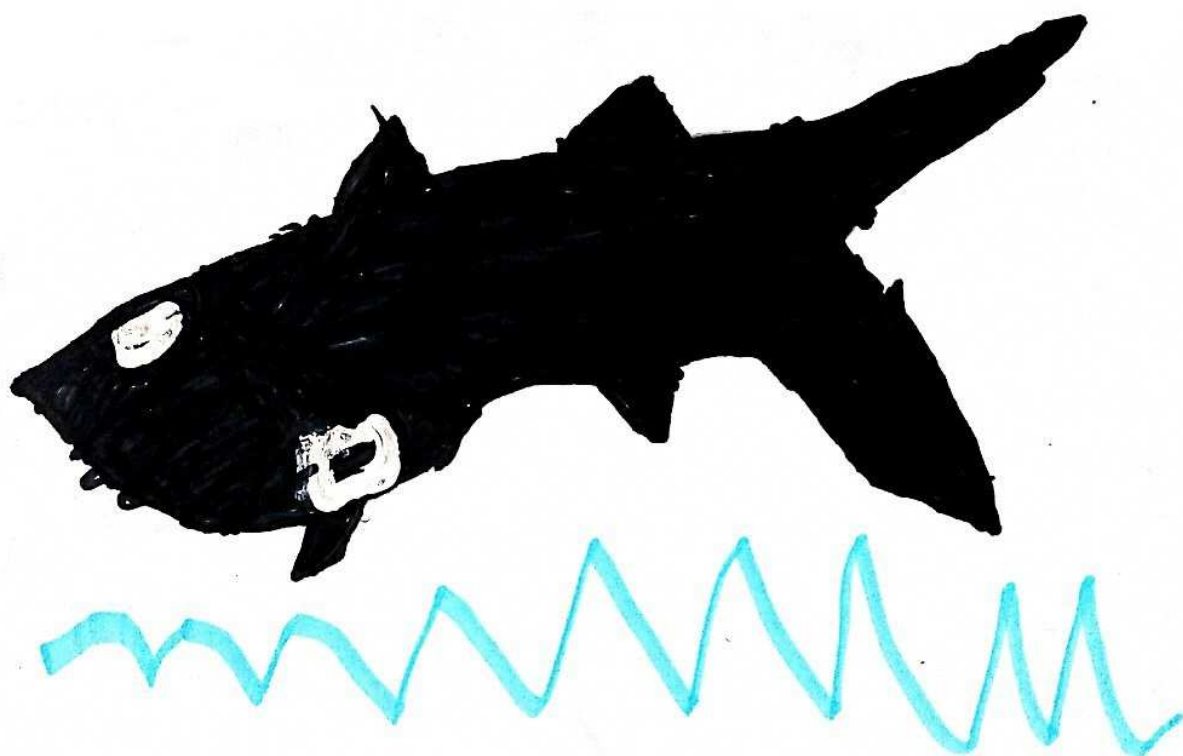
なお、保護者等から教育委員会への配置要望等は受け付けておりません。

Q. 「就学時健康診断」はどこで受けられますか？

・「就学時健康診断」は、小学校へ就学する前年に受けていただく検診です。岡山市では、10～11月にかけて各小学校で行っています。日時や会場は教育委員会から各家庭に通知されます。また、特別支援学校や、居住地外の通学区域の特別支援学級へ就学する場合でも、居住地の通学区域の小学校で受診いただくよう通知されます。

なお、通知された小学校で就学時健康診断を受診することが困難な場合は、その小学校に電話で相談してください。その場合は医療機関で受診する等、子どもの実態にあわせて可能な方法で行います。





裏表紙イラスト：シャチ（海のギャング）

菅原 ゆうや 悠哉 さん